第 10 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会

未来を拓く―アンメットニーズの克服へ向けて―

会　　長：**田邉　信宏**
千葉県済生会習志野病院　副院長/肺高血圧症センター長
千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学　特任教授

副 会 長：**田村　雄一**
国際医療福祉大学医学部循環器内科学　教授
国際医療福祉大学三田病院肺高血圧症センター

川口　鎮司
東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野　臨床教授

長岡鉄太郎
順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学　准教授

髙月　晋一
東邦大学医療センター大森病院小児科　教授

石田　敬一
国際医療福祉大学医学部心臓血管外科　教授

会　　期：2025 年 6 月 14 日（土）・15 日（日）

会　　場：京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1

学術集会事務局：
千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学

事務局長：**須田　理香**
千葉県済生会習志野病院肺高血圧症センター
千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学

目次

会長挨拶 …… 3
会場へのアクセス …… 4
フロアマップ …… 5
参加者の皆様へ …… 6
座長・演者の皆様へ …… 8
理事会のご案内 ……10
評議員会のご案内 ……10
関連会合のご案内 ……10
プログラム委員 ……11
Young Investigator's Award 選考委員 ……11
日程表 ……12
プログラム ……18
協賛企業一覧 ……62

会長挨拶

第 10 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会
会長 **田邉　信宏**
千葉県済生会習志野病院　副院長/肺高血圧症センター長
千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学　特任教授

このたび、第 10 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会を、2025 年 6 月 14 日（土）から 15 日（日）の 2 日間、新宿の京王プラザホテルにおいて、副会長の田村雄一先生（国際医療福祉大学医学部循環器内科学　教授）、川口鎮司先生（東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野　臨床教授）、長岡鉄太郎先生（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学　准教授）、髙月晋一先生（東邦大学医療センター大森病院小児科　教授）、石田敬一先生（国際医療福祉大学医学部心臓血管外科教授）とともに開催させていただくことになりました。呼吸器内科医として、学術集会を担当させていただくのは、第 2 回の北海道大学呼吸器内科　西村正治先生以来となります。その責任の重大さを感ずるとともに、大変名誉なことと、会員の皆様に深謝申し上げます。

本学術集会のテーマは、「未来を拓く―アンメットニーズの克服へむけて―」とさせていただきました。千葉大学呼吸器内科では、教室開講時より肺循環を主要研究テーマの 1 つとして掲げてきました。私が肺高血圧症の患者さんに初めて出会ったのは、1985 年、研修医の時ですが、現在は特発性・遺伝性 PAH という名称で呼ばれる原発性肺高血圧症（PPH）は、有効な治療薬もなく、若い女性が 3 年以内に亡くなってしまう難病でした。1998 年に厚生労働省呼吸不全栗山班で、PPH および CTEPH（当時は特発性慢性血栓塞栓症　肺高血圧型）の診断基準が作成され、治療給付対象疾患となり、その後、日本循環器学会のガイドライン（1999-2000 年）が刊行され、疾患に対する認識が向上しました。2016 年に本学会が設立され、レジストリ研究、ゲノム医療研究、AMED 研究連携、患者会との連携をはじめ、多領域にわたる専門性の高い疾患の探究が可能になりました。

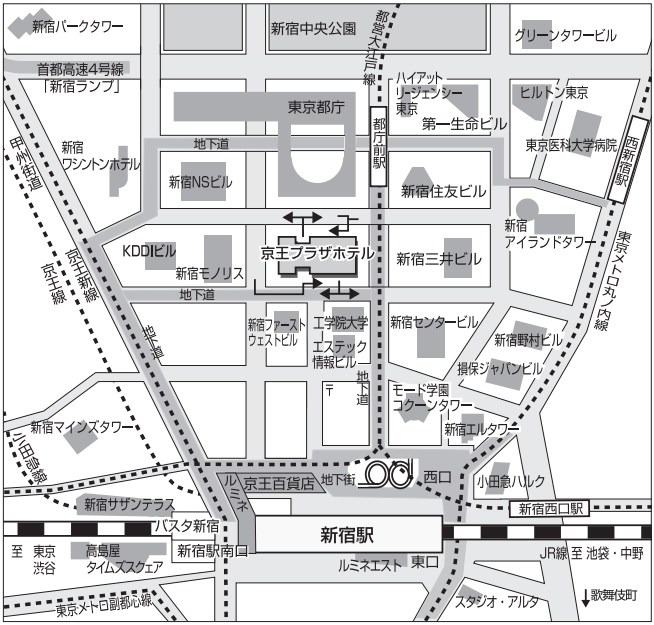
基調講演は、「希少難病を追求してヒトの老化に迫る」というタイトルで千葉大学学長の横手幸太郎先生に、特別講演は、昨年バルセロナで開催されたワールドシンポジウムで中心的役割をされた Marc Humbert 先生、日本の PH の第一人者である松原広己先生に、お話ししていただく予定です。

2024 年に FDA でソタテルセプトが認可され、近々日本でも使用可能となることが期待されます。一方、重症例は、静注薬に頼らざるを得ないのが現状で、患者さんへの制限は大きいといえます。また、PAH 初発年齢の高齢化がみられ、肺疾患合併 IPAH は、喫煙歴があり肺拡散能の低下を認める点が、従来の IPAH と大きく異なります。その予後は、肺血管拡張薬を使用しても 1980 年代の PPH と大差なく、3 群 PH と同様不良なままです。原疾患の治療、そしてガス交換を悪化させない新規治療の開発が望まれます。CTEPH では、手術および BPA そして、肺血管拡張薬によって、予後の改善がみられるようになりました。大変喜ばしいことではありますが、慢性化の予防の観点からみると、その進歩はあまり見られません。このように PH には、まだまだ、アンメットニーズが多くみられ、新規治療薬の開発とともに、本学会の特色でもある多領域の医師による連携、看護師、薬剤師、理学療法士等、コメディカルも加わった、チーム医療の推進が、患者さんのニーズに合わせた治療には必要と考えています。

最後に、私は呼吸器内科医ですが、日本においては、循環器内科医が PAH 治療に携わっていることが多く、呼吸器内科医の携わる割合は、海外に比較して少ないのが現状です。PH は、2 群を除けば、肺の病気と言えると思います。昨年、間質性肺疾患に伴う PH に対するトレプロスチニル吸入療法が日本においても承認され、同疾患を対象に、多くの治験が進行中です。今後、呼吸器内科医で PH に興味を持つ医師が増えることが期待されます。昨年、バルセロナで開催された第 7 回肺高血圧症国際シンポジウムを踏まえて、さらにその未来を拓く、ご参会の皆様にとって充実した学術集会になることを心より願っております。

会場へのアクセス

京王プラザホテル 〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1



●新宿駅西口より徒歩

約5分（ＪＲ・京王線・小田急線・地下鉄）

新宿駅西口より都庁方面への連絡地下道をまっすぐ5分ほどお進みください。地下道を出てすぐ左側にホテルがございます。

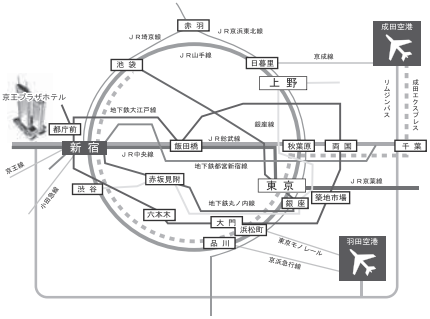
●都営大江戸線都庁前駅より徒歩

地下道Ｂ１出口よりすぐ

改札を出てＪＲ新宿駅方面に進み、Ｂ１出口階段を上がってすぐ右側にホテルがございます。

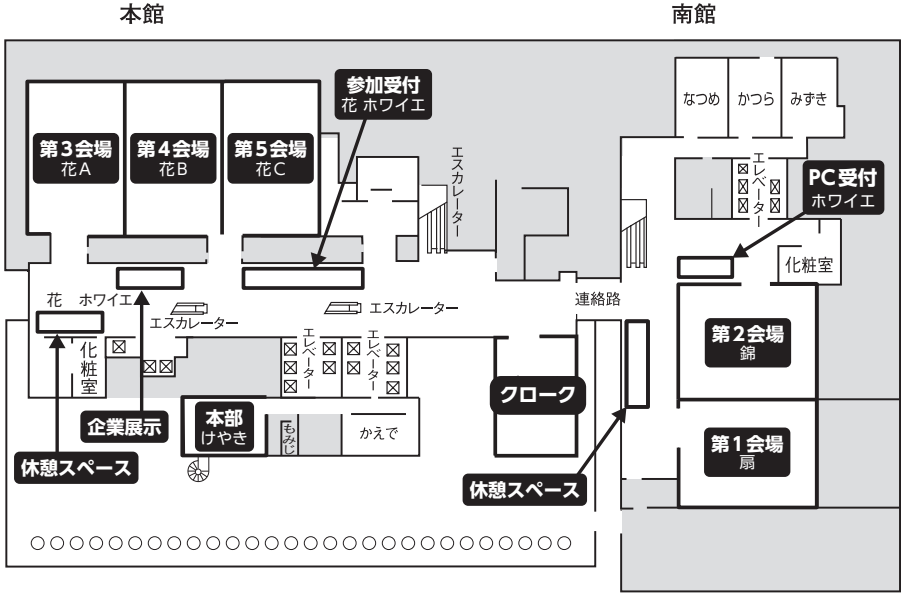
●リムジンバス　成田空港、羽田空港との直通リムジンバスがございます。

【都内簡略路線図】



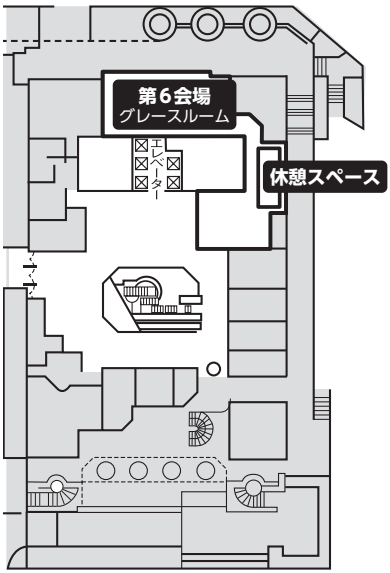
フロアマップ

4F



京王プラザホテル		
会場	**フロア**	**部屋名**
第 1 会場	南館 4F	扇
第 2 会場	南館 4F	錦
第 3 会場	本館 4F	花 A
第 4 会場	本館 4F	花 B
第 5 会場	本館 4F	花 C
第 6 会場	南館 3F	グレースルーム
企業展示	本館 4F	花　ホワイエ
参加受付	本館 4F	花　ホワイエ
PC 受付	南館 4F	錦　ホワイエ
クローク	本館 4F	クローク
休憩スペース	本館 4F 南館 3F・4F	ホワイエ
本部	本館 4F	けやき

南館 3F



参加者の皆様へ

1. 参加費

早期参加登録［2025年5月1日（木）～6月2日（月）］

医師・一般	12,000円【不課税】
コメディカル	5,000円【不課税】
初期研修医・後期研修医	5,000円【不課税】
学生（大学院生を除く）	無料

通常参加登録［2025年6月3日（火）～6月15日（日）］

医師・一般	15,000円【不課税】
コメディカル	5,000円【不課税】
初期研修医・後期研修医	5,000円【不課税】
学生（大学院生を除く）	無料

2. 参加登録

・参加登録は、オンライン登録のみとなります。
　会場での参加費支払い窓口はございませんのでご注意ください。
・決済が完了すると、本登録完了のお知らせメールが自動送信されます。
・参加証明書の事前発行・送付は行いませんのでご了承ください。

参加証明書について

当日、現地の参加受付にて参加証明書をお渡しいたします。
参加証明書の発行場所および時間は、下記のとおりです。

場所：参加受付（京王プラザホテル　本館4F『花　ホワイエ』）
日程：6月14日（土）8：00～17：00
　　6月15日（日）8：00～16：00

マイページより領収書をダウンロードいただき、印刷して持参するか、スマートフォンなどで領収書を受付に提示してください。決済済みの確認がとれましたら参加証明証をお渡しいたします。

領収書の発行について

領収書は決済完了後にマイページより各自ダウンロードしてください。
※デジタル版のみの発行となります。郵送による紙の発行はございません。
　発行期間：**2025年5月1日（木）～7月31日（木）23：59**
※発行期間を過ぎてからの再発行は、いかなる場合でもいたしかねますので、予めご了承ください。

3. プログラム・抄録集

本学術集会のプログラム・抄録集は、WEB抄録集（PDF形式）として提供されます。
参加登録および決済が完了した方は、マイページよりダウンロードが可能です。

4. 共催セミナー

【ランチョンセミナー】
本学術集会では、フードロス対策のため、事前申込制といたします。
　申込期間：**2025年5月1日（木）～6月2日（月）**

※申込期間終了後はお弁当のお申込みはできません。
※参加方法
参加登録のマイページからお弁当の引換券を印刷し、会場へご持参ください。
ご入場の際にお弁当と引き換えいたします。
なお、引換券はセミナー開始後に無効となります。
※事前申込をされていない方は、直接会場へお越しください。
申込された方をご案内後、空きがある場合に限り、ご希望のセミナーにご参加いただけます。

【その他の共催セミナー】
いずれも整理券はございません。お時間になりましたら直接会場へお越しください。

5. クローク

場所：京王プラザホテル　本館 4F
時間：6 月 14 日（土）8：00～19：00
6 月 15 日（日）8：00～18：00

6. 企業展示

場所：京王プラザホテル　本館 4F『花　ホワイエ』
時間：6 月 14 日（土）9：00～18：30
6 月 15 日（日）9：00～17：00

7. その他

・会場内での録音、録画、写真撮影は禁止です。
・原則として、会場内の呼び出しは行いません。
・全員懇親会は開催いたしません。

座長・演者の皆様へ

・発表はPCプレゼンテーションに限ります。発表データ受付に関する詳細は、以下の＜演者の皆様へ＞をご参照ください。
・演者は、セッション開始30分前までにPC受付を済ませ、発表10分前までに次演者席へご着席ください。
・座長は、セッション開始10分前までに次座長席へご着席ください。
・進行は座長に一任いたします。演者は指示に従い、時間厳守にご留意ください。

■発表時間

セッション	発表時間	質疑時間	総合討論
指定演題・共催セミナー	個別にご案内いたします		
一般演題	7分	3分	なし
YIA演題	10分	5分	なし
八巻賞	30分	なし	なし
学会奨励賞	15分	なし	なし
Jamieson CTEPH Award	15分	なし	なし
Year in Review	30分	なし	なし

座長の皆様へ

1. 座長受付は行いません。担当セッション開始予定時刻の10分前までに、会場内右手前方の「次座長席」にご着席ください。
2. 進行は座長に一任いたしますが、時間厳守にご協力をお願いいたします。

演者の皆様へ

＜PC・データ受付＞
・セッション開始の30分前までに「PC受付」にて発表データの受付をお済ませのうえ、発表10分前までに会場内の「次演者席」にてお待ちください。なお、利益相反開示用スライドも受付時にご提出ください。
・PC受付
場所：京王プラザホテル　南館4F『錦　ホワイエ』
時間：6月14日（土）8：00～18：00
　　6月15日（日）8：00～16：30

＜発表形式＞
・PowerPointによるPC発表のみとなります。
・お持ち込みいただけるメディアは、USBメモリのみとなります。
・macOSをご使用の場合、動画（PowerPointのアニメーション機能を除く）を使用される場合は、ご自身のPCをご持参ください。
・タブレット端末を使用してのご発表はご遠慮ください。
・音声はご利用いただけます。
・発表者ツールはご使用いただけませんので、予めご了承ください。

＜発表データ＞
●発表データを持参する場合
・受付はWindowsで作成されたデータのみとなります。
・会場にご用意するPCのOSはWindows 11、Office365（PowerPoint）となります。

・スクリーンへは 16：9 で投影いたしますので、可能な限り、同サイズでデータをご用意ください。
・データのファイル名は「口演番号 _ 発表者氏名」としてください。
・発表データ作成後、作成した PC 以外の PC で正常に動作するかチェックしてください。
会場ではデータの修正はできませんので、予めご了承ください。
・各演者からお預かりした発表データは、学術集会および運営事務局の責任において学術集会終了後に破棄いたします。

●ご自身の PC を持参する場合
・発表データはデスクトップ上に保存していただき、ファイル名は「口演番号 _ 発表者氏名」としてください。
・PC の AC アダプターは必ずご用意ください。
・会場でご使用いただく PC ケーブルコネクタの形状は「HDMI」です。この形状にあった PC をご用意ください。また、この形状に変換するコネクタを必要とする機種の場合は、必ず変換するプラグをご持参ください。
・バックアップ用データを保存した USB メモリをご持参ください。
・予め、スクリーンセーバー、省電力設定、起動時のパスワード設定は解除をお願いします。

理事会のご案内

日本肺高血圧・肺循環学会　理事会
日時：6 月 13 日（金）16：00～18：00
場所：京王プラザホテル　本館 42F『高尾』

評議員会のご案内

日本肺高血圧・肺循環学会　評議員会
日時：6 月 15 日（日）8：10～8：50
会場：京王プラザホテル　本館 4F『花 C』（第 5 会場）

関連会合のご案内

PH48（日本肺高血圧・肺循環学会若手部会）
日時：6 月 14 日（土）18：00～18：50
会場：京王プラザホテル　南館 4F『みずき』

JAPHR 合同班会議
日時：6 月 14 日（土）19：00～19：50
会場：京王プラザホテル　本館 4F『花 B』（第 4 会場）

AMED 慢性血栓塞栓性肺高血圧症を代表とする肺循環障害の非侵襲・迅速・簡便な診断を実現する X 線動画像/肺血流動態解析プログラムの開発：キックオフミーティング
日時：6 月 14 日（土）19：50～20：20
会場：京王プラザホテル　南館 4F『みずき』

日本肺高血圧・肺循環学会小児循環器連携委員会 小児肺循環研究部会
日時：6 月 15 日（日）7：00～8：00
会場：京王プラザホテル　南館 3F『グレースルーム』（第 6 会場）

JAPHR Group 2 PH グループミーティング
日時：6 月 15 日（日）7：00～8：00
会場：京王プラザホテル　南館 4F『みずき』

プログラム委員

池田　長生（東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科）
石井　　卓（東京科学大学 小児科）
石田　敬一（国際医療福祉大学医学部 心臓血管外科）
石田　秀和（大阪大学大学院医学系研究科 小児科学）
加藤　　将（富山大学医学部 第一内科）
川口　鎮司（東京女子医科大学医学部内科学講座 膠原病リウマチ内科学分野）
北井　　豪（国立循環器病研究センター 心不全部）
重田　文子（千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学）
髙月　晋一（東邦大学医療センター大森病院 小児科）
田村　雄一（国際医療福祉大学医学部 循環器内科学
　　国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター）
土橋　浩章（香川大学医学部・医学系研究科内科学講座 血液・免疫・呼吸器内科学）
飛田　和基（埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科）
長岡鉄太郎（順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学）
中岡　良和（国立循環器病研究センター 血管生理学部）
西山　　理（近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科）
芳川　豊史（名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学）

（敬称略・五十音順）

Young Investigator's Award 選考委員

【基礎】
江本　憲昭（神戸薬科大学 臨床薬学研究室）
中岡　良和（国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部/病院心臓血管内科）
坂尾誠一郎（国際医療福祉大学医学部 呼吸器内科学教室）

【臨床】
辻野　一三（北海道大学大学院医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野）
小垣　滋豊（大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科）
川口　鎮司（東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマチ内科学分野）

（敬称略・順不同）

日程表[1 日目]

▶ 2025年6月14日(土)

	第1会場 南館4F　扇	第2会場 南館4F　錦	第3会場 本館4F　花A
8:00			
8:30			
9:00	開会式		
	9:00～9:30 **教育講演 1** 発生生物学と肺高血圧・肺循環 座長：小垣　滋豊　演者：山岸　敬幸	9:00～10:30 **スポンサードセミナー 1** Stable is not enough ～最新の診療ガイダンスをもとに、PAH 治療の新たなゴールを考える～ 座長：片岡　雅晴 演者：大郷　剛 杉浦　寿彦 共催：MSD 株式会社メディカルアフェアーズ	9:00～10:30 **会長特別企画シンポジウム 1** 画像からアプローチする肺高血圧症の診断治療 座長：長尾　充展 倉石　博 演者：大田　英揮 川田奈緒子 田原　宣広 坂巻　文雄
9:30	9:35～10:05 **教育講演 2** CTEPH 治療に関わる専門医が知っておくべき肺動脈内膜摘除術 座長：荻野　均　演者：石田　敬一		
10:00	10:10～10:40 **教育講演 3** 重症急性肺塞栓症に対するアプローチ 座長：山田　典一　演者：山本　剛		
10:30		10:40～12:10 **シンポジウム 3** 肺高血圧症の病態形成機構の解明から治療法（診断法）へ 座長：阿部弘太郎 中岡　良和 演者：磯部　更紗 稲垣　薫克 佐藤　大樹 吉田　賢明	
11:00	10:45～11:25 **会長講演** 肺高血圧症―アンメットニーズの克服へ向けて― 座長：異　浩一郎 演者：田邉　信宏		10:55～12:10 **シンポジウム 4** 肺高血圧症とともに生きる ―QOL向上のために各職種が考えていること― 座長：瀧田　結香・飛田　和基 演者：髙橋英里華・中島菜穂子 中山奈都子・坂本　勇斗 江口　明世・鈴木　雄也
11:30	11:30～12:20 **特別講演 1** Pulmonary hypertension burden and management in 2025 座長：田村　雄一 演者：Marc Humbert		
12:00			
12:30	12:30～13:20 **ランチョンセミナー 1** 最新ガイドラインを基に考える PAH の個別化医療 座長：大郷　剛　演者：平出　貴裕 共催：MSD 株式会社	12:30～13:20 **ランチョンセミナー 2** PAH 診療における併用療法（Upfront、治療強化）の重要性 座長：福本　義弘 演者：赤木　達・細川　和也 共催：ヤンセンファーマ株式会社/日本新薬株式会社	12:30～13:20 **ランチョンセミナー 3** 肺 NTM 症診療最前線 ～診療指針が確立されつつある時代へ～ 座長：鈴木　拓児　演者：萩原　恵里 共催：インスメッド合同会社
13:00	13:30～14:20 **基調講演** 希少難病を追求してヒトの老化に迫る 座長：田邉　信宏 演者：横手幸太郎		
13:30			
14:00			
14:30	【International Session】		
	14:30～15:10 **Invited Lecture 1** Takayasu Arteritis and Pulmonary Hypertension: Clinical Characteristics, Outcomes, and Interventional Treatment Strategy Chair：Yoshihiro Fukumoto Speaker：Zhi-Cheng Jing	14:30～15:10 **八巻賞受賞講演** 肺動脈性肺高血圧症治療の新展開を導く臨床的挑戦と基礎研究 座長：下川　宏明・安田　聡 演者：赤木　達	14:30～15:10 **症例検討 1** 症例：BPA vs PEA　境界はどこか? 座長：谷口　悠・塩瀬　明 ディスカッサント：石田　敬一・伊波　巧・重田　文子・下川原裕人 演者：佐藤　司・高野　凌
15:00	【International Session】		
	15:20～16:50 **International Symposium** PH Management in Asia from a Global Perspective Chair：Marc Humbert Yuichi Tamura Speaker：Marc Humbert Zhi-Cheng Jing Yuichi Tamura Seiichiro Sakao Noriaki Emoto	15:20～16:50 **スポンサードセミナー 2** 循環器内科医に知ってほしい肺疾患合併肺高血圧症の診断 座長：近藤　康博 波多野　将 演者：千葉　弘文 須田　理香 細川　和也 共催：持田製薬株式会社　メディカルアフェアーズ部	15:15～15:55 **Jamieson CTEPH award** 座長：荻野　均 演者：佐藤　大樹 眞﨑　耕平
16:00			16:00～17:30 **学会奨励賞受賞講演** 座長：山岸　敬幸 安岡　秀剛 演者：(基) 藤原　隆行 演者：(臨) 桃井　瑞生 横川　哲朗 吉田　賢明
16:30			
17:00	【International Session】		
	17:00～17:30 **Invited Lecture 2** Gaps and Perspectives in the Diagnosis and Treatment of Pulmonary Hypertension in Taiwan Chair：Keiko Yamauchi-Takihara　Speaker：Kuo Yang Wang	17:00～17:30 **教育講演 6** 肺高血圧症に対する遺伝学検査の実際と疾患関連性の読み解き 座長：福田　恵一　演者：廣野　恵一	
17:30	【International Session】		
	17:40～18:10 **Futured Science Lecture** Profiles of Treprostinil Palmitil Inhalation Powder (TPIP) : Formulation, Preclinical and Clinical Characteristics Chair：Seiichiro Sakao　Speaker：Gerald O'Brien	17:40～18:30 **イブニングセミナー 1** CTEPH の治療戦略 ～BPA 後を見据えたプレメディケーション～ 座長：山下　淳　演者：下川原裕人 共催：日本新薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社	17:40～18:30 **イブニングセミナー 2** リクシアナ日本人エビデンスからの知見（VTE・CTEPH） 座長：杉村宏一郎　演者：山下　侑吾・阿部弘太郎 共催：第一三共株式会社
18:00			
18:30			
19:00			

	第4会場 本館4F　花B	第5会場 本館4F　花C	第6会場 南館3F　グレースルーム
8:00			
8:30			
9:00	9:00〜10:30 **シンポジウム 1** 心不全に伴う肺高血圧の治療戦略を再考する 座長：安田　聡 北井　豪 演者：佐藤　希美 髭　和樹 中西　直彦 柏村　健 佐藤　大樹	9:00〜9:50 **一般演題 3** 私たちの新しい取り組み 座長：辻野　一三 瀧田　結香	
9:30			
10:00		9:50〜10:30 **一般演題 4** 検査診断 1 座長：村田　光繁 関根亜由美	10:00〜11:15 **シンポジウム 2** 先天性心疾患に伴う肺高血圧症の諸問題 座長：宗内　淳 細川　奨 演者：竹内　宗之 八尾　厚史 内田　敬子 石田　秀和
10:30	10:40〜11:20 **一般演題 1** 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 1 座長：泉家　康宏 五天　千明	10:30〜11:20 **一般演題 5** 5 群 PH 1 座長：小野　文明 窪田佳代子	
11:00			
11:30	11:20〜12:10 **一般演題 2** 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 2 座長：塩瀬　明 山下　淳	11:20〜12:10 **一般演題 6** 左心疾患に伴う肺高血圧症とその他 PH 座長：坂田　泰史 中村　一文	11:20〜12:20 **一般演題 14** 小児科領域の肺循環障害 (Fontan 循環、MAPCA などを含む) 座長：三谷　義英 小野　博
12:00			
12:30	12:30〜13:20 **ランチョンセミナー 4** 肺高血圧症の呼吸管理 HOT から HFNC、在宅 NPPV まで 座長：今野　哲　演者：須田　理香 共催：帝人ヘルスケア株式会社	12:30〜13:20 **ランチョンセミナー 5** 間質性肺疾患に伴う肺高血圧症 診断と治療の最前線 座長：守尾　嘉晃　演者：富貴原　淳 共催：持田製薬株式会社	
13:00			
13:30		13:30〜14:10 **一般演題 7** リハビリテーション・患者ケア 1 座長：稲垣　武 髙山　直子	13:30〜14:30 **一般演題 15** 先天性心疾患（小児、成人） 座長：東　浩二 早渕　康信
14:00		14:10〜14:50 **一般演題 8** リハビリテーション・患者ケア 2 座長：飛田　和基 中島菜穂子	
14:30	14:30〜15:10 **症例検討 2** 症例から学ぶ ILD-PH に対する吸入トレプロスチニル 座長：近藤　康博・坂尾誠一郎 演者：西山　理・岡谷　匡	14:50〜15:50 **一般演題 9** 薬物治療 座長：近藤　隆久 矢尾板信裕	14:40〜15:10 **教育講演 4** Fontan 循環に合併する肺血管病変と薬物治療の実際 座長：小暮　智仁　演者：稲井　慶
15:00			
15:30	15:15〜15:45 **教育講演 5** 肺高血圧症に対する肺移植の現状 座長：花岡　正幸　演者：芳川　豊史		15:15〜16:30 **シンポジウム 5** 新生児期から小児期の特有の肺高血圧疾患 座長：廣野　恵一 永井　礼子 演者：豊島　勝昭 髙月　晋一 澤田　博文 石井　良
16:00	16:00〜17:15 **シンポジウム 6** 肺高血圧症に対する 肺移植で抑えておくべきポイント 座長：芳川　豊史・重田　文子 演者：足立　史郎・木下　秀之 此枝　千尋・田中　里奈 大石　久・稲垣　武	15:50〜16:50 **一般演題 10** 膠原病性肺高血圧症 1 座長：田中　住明 武内　徹	
16:30			16:40〜17:20 **症例検討 3** Epoprostenol 導入や移植登録の時期 座長：小垣　滋豊・中山　智孝 演者：岩朝　徹・石田　秀和
17:00		16:50〜17:40 **一般演題 11** 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 3 座長：楠瀬　賢也 深井　邦剛	
17:30			17:30〜18:10 **一般演題 16** 小児肺高血圧症 1 座長：満下　紀恵 岩朝　徹
18:00	17:40〜18:30 **イブニングセミナー 3** BPA 治療戦略 ビギナー〜エキスパートまで 東邦大橋 STYLE 座長：伊波　巧 演者：池田　長生 コメンテーター：安西　淳・鍵山弘太郎・小村　直弘 共催：ニプロ株式会社	17:40〜18:20 **一般演題 12** 肺動脈性肺高血圧症 1 座長：中里　和彦 重田　文子	18:10〜19:00 **一般演題 17** 小児肺高血圧症 2 座長：福島　裕之 若宮　卓也
18:30		18:20〜19:00 **一般演題 13** 呼吸器 1 座長：長内　忍 眞田　喬行	
19:00			

日程表[2日目]

▶2025年6月15日(日)

	第1会場 南館4F　扇	第2会場 南館4F　錦	第3会場 本館4F　花A
8:00			
8:30			
9:00	9:00～9:30 **教育講演 7** 肺病変を有する肺高血圧症診療ガイドラインを紐解く 座長：西村　正治　演者：長岡鉄太郎	9:00～10:30 **スポンサードセミナー 3** 患者さんの予後改善を目指すための PAH 治療とは ～医療者・患者の視点から～ 座長：田邉　信宏 演者：田村　雄一 松原　広己 村上　紀子 共催：ヤンセンファーマ株式会社　メディカルアフェアーズ本部	9:00～10:15 **シンポジウム 7** acute on chronic PE への対応 座長：池田　長生 孟　真 演者：荻原　義人 足立　史郎 島原　佑介 田邉　康宏
9:30			
10:00	9:35～10:05 **教育講演 8** 肺高血圧症の病理所見について 座長：長岡鉄太郎　演者：植田　初江		
10:30	10:10～10:40 **教育講演 9** オスラー病と肺高血圧症 座長：鈴木　拓児　演者：杉浦　寿彦		10:20～11:35 **シンポジウム 8** 肺高血圧症患者のリハビリテーション ―適切な活動のマネジメント― 座長：飛田　和基 窪田佳代子 演者：中尾　周平 安藤　可織 天尾　理恵 合田あゆみ
11:00	10:45～11:25 **理事長講演** 今後の肺高血圧症診療と日本肺高血圧・ 肺循環学会について 座長：下川　宏明　演者：福本　義弘	10:45～12:15 **シンポジウム 9** 肺疾患合併肺高血圧症における 病理学的所見と病態 座長：須田　隆文 阿部弘太郎 演者：武村　民子 西山　理 杉本　綱子 大郷　剛	
11:30	11:30～12:20 **特別講演 2** 肺高血圧症治療の展望 座長：中西　宣文 演者：松原　広己		11:40～12:20 **リウマチセミナー** CTD-PH の病態メカニズム解析の現状 座長：川口　鎮司 演者：安岡　秀剛
12:00			
12:30	12:30～13:20 **ランチョンセミナー 6** PAH をどう治療するか ～心肺併存疾患の有無に応じた治療選択～ 座長：坂尾誠一郎 演者：伊波　巧・谷口　悠 共催：日本新薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社	12:30～13:20 **ランチョンセミナー 7** CTEPH 治療の現在と今後の展望 座長：杉村宏一郎 演者：下川原裕人 共催：MSD 株式会社	12:30～13:20 **ランチョンセミナー 8** 難治性自己免疫疾患における最新の治療戦略 座長：土橋　浩章 演者：中岡　良和・川口　鎮司 共催：中外製薬株式会社
13:00			
13:30	13:30～15:00 **会長特別企画シンポジウム 2** レジストリーアンメットニーズ 座長：福本　義弘・渡邉　裕司 演者：田村　雄一・杉村宏一郎 内藤　亮・阿部弘太郎 大郷　剛・土井庄三郎 共催：厚生労働省難治性疾患等政策研究事業「難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究」班	13:30～15:00 **シンポジウム 10** CTD-PH の治療 座長：川口　鎮司 土橋　浩章 演者：蟹川　慶太 田中　健介 白井悠一郎 上田　仁	13:30～14:00 **教育講演 12** 腸内細菌叢変容と芳香族炭化水素受容体の制御による PH の新規治療法 座長：江本　憲昭　演者：中岡　良和
14:00			
14:30			14:10～14:50 **コーヒーブレイクセミナー 1** BPA strategy と合併症の注意点 座長：下川原裕人 コメンテーター：池田　長生・深井　邦剛・山下　淳 演者：安西　淳・笹月　準 共催：株式会社カネカメディックス
15:00			
15:30	15:10～15:50 **コーヒーブレイクセミナー 2** 膠原病に伴う間質性肺疾患(CTD-ILD)治療の Up to date 座長：巽　浩一郎　演者：岡元　昌樹 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社		15:10～15:50 **コーヒーブレイクセミナー 3** NO 吸入療法 座長：桑原宏一郎　演者：池田　長生・大郷　剛 共催：マリンクロットファーマ株式会社
16:00		16:00～17:30 **シンポジウム 12** CTEPH 治療―ガイドラインからその先へ― 座長：石田　敬一 新家　俊郎 演者：伊波　巧 島原　佑介 池田　長生 谷口　悠 細川　和也	16:00～17:30 **パネルディスカッション** 小児期から成人期への移行における課題 座長：大郷　剛 高月　晋一 演者：土井庄三郎 相馬　桂 福島　裕之 原田　香奈
16:30	16:15～16:45 **教育講演 13** 全身性強皮症の PH ―いつから治療するのか? 座長：桑名　正隆　演者：川口　鎮司		
17:00	16:55～17:25 **教育講演 14** 2025年新しい VTE および PH に関するガイドラインについて 座長：佐藤　徹　演者：田村　雄一		
17:30	**表彰式・閉会式**		
18:00			
18:30			
19:00			

	第4会場 本館4F　花B	第5会場 本館4F　花C	第6会場 南館3F　グレースルーム
8:00			
8:30		8:10～8:50 **評議員会**	
9:00	9:00～10:00 **YIA セッション（臨床）** 審査員兼座長：辻野　一三 小垣　滋豊 川口　鎮司	9:00～9:40 **一般演題 20** 基礎研究 1 座長：江本　憲昭 鈴木　拓児 9:40～10:20 **一般演題 21** 呼吸器 2 座長：小倉　高志 木村　智樹	9:00～10:15 **日本小児循環器学会との ジョイントシンポジウム** 改めて考える IPAH に対する 経口・非経口標的治療薬の使い方 座長：片岡　雅晴・石井　卓 演者：住友　直文・馬場　健児 大郷　剛・赤木　達
9:30			
10:00	10:05～11:05 **YIA セッション（基礎）** 審査員兼座長：江本　憲昭 中岡　良和 坂尾誠一郎		
10:30		10:20～11:00 **一般演題 22** 膠原病性肺高血圧症 2 座長：深谷　修作 田村　祐大	10:20～11:00 **一般演題 26** 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 4 座長：清水　一寛 山本英一郎
11:00			11:00～11:40 **一般演題 27** 症例報告 1 座長：土肥　由裕 古賀　祐樹
11:30	11:15～11:45 **教育講演 10** Unusual form pulmonary arterial hypertension 座長：中西　敏雄　演者：髙月　晋一	11:15～12:15 **一般演題 23** 基礎研究 2 座長：澤田　博文 泉家　康宏	11:40～12:20 **一般演題 28** 症例報告 2 座長：守尾　嘉晃 木下　秀之
12:00	11:50～12:20 **教育講演 11** 肺高血圧症患者における効果的な患者指導の実践 座長：木村　　弘　演者：田村　祐大		
12:30	12:30～13:20 **ランチョンセミナー 9** PAH 診療の Next Stage ―吸入薬がもたらす新たな治療戦略― 座長：片岡　雅晴　演者：平出　貴裕 共催：持田製薬株式会社		
13:00			
13:30	13:30～14:00 **Year in Review 1　臨床** Year in Review 2025（Clinical） 座長：花岡　正幸　演者：足立　史郎	13:30～14:45 **シンポジウム 11** 薬物療法マスター （持続静注・皮下注療法の実際） 座長：波多野　将 須田　理香 演者：伊波　　巧 中村　　旭 本郷　勇気	13:30～14:20 **一般演題 29** 症例報告 3 座長：齋木　宏文 石田　秀和
14:00	14:05～14:35 **Year in Review 2　基礎** Year in Review 2025（Basic） 座長：小垣　滋豊　演者：中西　直彦		14:20～15:00 **一般演題 30** 呼吸器 3 座長：田坂　定智 今野　　哲
14:30	14:40～15:20 **一般演題 18** 肺動脈性肺高血圧症 2 座長：高間　典明 吉藤　　元	14:50～15:30 **一般演題 24** 検査診断 2 座長：坂巻　文雄 中村　順一	15:00～15:40 **一般演題 31** 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 5 座長：合田あゆみ 中村　和人
15:00	15:20～16:10 **一般演題 19** 肺動脈性肺高血圧症 3 座長：小田切圭一 妹尾　絢子	15:30～16:10 **一般演題 25** 5 群 PH 2 座長：辻　　明宏 田中　健介	15:40～16:20 **一般演題 32** チーム医療・医療連携 1 座長：橋本　暁佳 金森　翔平
15:30			16:20～16:50 **一般演題 33** チーム医療・医療連携 2 座長：河野　隆志・青木　竜男
16:00	16:15～17:30 **若手企画シンポジウム** キックオフ PH48！Multidisciplinary team meeting for young members ―PH 診療検査　基本のき！― 座長：足立　史郎・佐藤　大樹 演者：足立　史郎・藤﨑　真也 栗山　祥子・松枝　　佑 三須久美子・福本　義弘	16:15～17:30 **シンポジウム 13** PAH のスクリーニングはどの population にどの程度やる?実際のプラクティスについて 座長：村田　光繁・田中　住明 演者：白井悠一郎・菊池　華子 平出　貴裕・瀬戸山航史 厚川　正則	16:50～17:30 **一般演題 34** 呼吸器 4 座長：笠原　靖紀 中山　和彦
16:30			
17:00			
17:30			
18:00			
18:30			
19:00			

プログラム

6月14日(土)　第1会場

9:00〜9:30　教育講演1　Educational Lecture 1

座長：小垣　滋豊(大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科)

EL1　発生生物学と肺高血圧・肺循環

○山岸　敬幸

東京都立小児総合医療センター

9:35〜10:05　教育講演2　Educational Lecture 2

座長：荻野　均(公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 心臓血管外科/東京医科大学病院 心臓血管外科)

EL2　CTEPH治療に関わる専門医が知っておくべき肺動脈内膜摘除術

○石田　敬一

国際医療福祉大学医学部 心臓血管外科

10:10〜10:40　教育講演3　Educational Lecture 3

座長：山田　典一(桑名市総合医療センター 循環器内科)

EL3　重症急性肺塞栓症に対するアプローチ

○山本　剛

日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科

10:45〜11:25　会長講演　Presidential Lecture

座長：巽　浩一郎(千葉大学名誉教授（医学研究院呼吸器内科学))

PL　肺高血圧症―アンメットニーズの克服へ向けて―

○田邉　信宏[1,2]

[1]千葉県済生会習志野病院、[2]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学

11:30〜12:20　特別講演1　Special Lecture 1

座長：田村　雄一(国際医療福祉大学医学部 循環器内科学/国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター)

SL1　Pulmonary hypertension burden and management in 2025

○Marc Humbert

The University Paris-Saclay, France

12:30〜13:20　ランチョンセミナー1　Luncheon Seminar 1

座長：大郷　剛(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科)

LS1　最新ガイドラインを基に考えるPAHの個別化医療

○平出　貴裕

慶應義塾大学医学部 循環器内科

共催：MSD株式会社

13:30〜14:20 基調講演　Keynote Lecture

座長：田邉　信宏（千葉県済生会習志野病院/千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学）

KL　希少難病を追求してヒトの老化に迫る

○横手　幸太郎
国立大学法人 千葉大学

14:30〜15:10 【International Session】Invited Lecture 1

Chair：Yoshihiro Fukumoto（Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kurume University School of Medicine, Japan）

IL1　Takayasu Arteritis and Pulmonary Hypertension: Clinical Characteristics, Outcomes, and Interventional Treatment Strategy

○Zhi-Cheng Jing
Department of Cardiovascular Medicine, GuangDong Academy of Medical Sciences/GuangDong Cardiovascular Institute/GuangDong Provincial People's Hospital, China

15:20〜16:50 【International Session】International Symposium

PH Management in Asia from a Global Perspective

Chair：Marc Humbert（The University Paris-Saclay, France）
Yuichi Tamura（Pulmonary Hypertension Center, International University of Health and Welfare Mita Hospital, Japan）

ISY-1　The Seventh World Symposium on Pulmonary Hypertension and beyond

○Marc Humbert
The University Paris-Saclay, France

ISY-2　Genetic Landscapes of Pulmonary Arterial Hypertension in China

○Zhi-Cheng Jing
Department of Cardiovascular Medicine, GuangDong Academy of Medical Sciences/GuangDong Cardiovascular Institute/GuangDong Provincial People's Hospital, China

ISY-3　Treatment Strategies for Non-SSc CTD-PAH

○Yuichi Tamura[1,2,3], Yudai Tamura[2], Investigators All[3]
[1]Pulmonary Hypertension Center, International University of Health and Welfare Mita Hospital, Japan,
[2]Department of Cardiovascular Medicine, International University of Health and Welfare, Japan,
[3]Japan PH Registry

ISY-4　Treatment of Interstitial Lung Disease-associated PH in Asia

○Seiichiro Sakao
Department of Pulmonary Medicine, International University of Health and Welfare, Japan

ISY-5　International Collaboration of PAH Associated with ASD between Japan and Indonesia

○Noriaki Emoto[1,2], Pranindya Rinastiti[1], Anggoro Budi Hartopo[3], Dyah Wulan Anggrahini[3], Lucia Kris Dinarti[3]

[1]Laboratory of Clinical Pharmaceutical Science, Kobe Pharmaceutical University, Japan,

[2]Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Japan,

[3]Department of Cardiology and Vascular Medicine, Faculty of Medicine, Nursing, and Public Health, Universitas Gadjah Mada, Indonesia

17:00〜17:30　【International Session】Invited Lecture 2

Chair：Keiko Yamauchi-Takihara（Professor Emeritus, Osaka University, Japan）

IL2　Gaps and Perspectives in the Diagnosis and Treatment of Pulmonary Hypertension in Taiwan

○Kuo Yang Wang

Center for PH and PVD, China Medical University Hospital/Taiwan Pulmonary Hypertension Association, Taiwan

17:40〜18:10　【International Session】Futured Science Lecture

Chair：Seiichiro Sakao（Department of Pulmonary Medicine International University of Health and Welfare, Japan）

FSL　Profiles of Treprostinil Palmitil Inhalation Powder (TPIP) : Formulation, Preclinical and Clinical Characteristics

○Gerald O'Brien

Global Clinical Development, Insmed Incorporated, USA

6月14日(土)　第2会場

9:00〜10:30　スポンサードセミナー1　Sponsored Seminar 1

Stable is not enough
〜最新の診療ガイダンスをもとに、PAH治療の新たなゴールを考える〜

座長：片岡　雅晴（産業医科大学医学部 第2内科学講座）

SS1-1　低中リスクのPAH患者に対する治療強化

○大郷　剛

国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

SS1-2　呼吸器内科医の立場からの治療強化の判断・タイミング・ゴール

○杉浦　寿彦

千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学

共催：MSD株式会社メディカルアフェアーズ

10:40〜12:10 シンポジウム 3　Symposium 3

肺高血圧症の病態形成機構の解明から治療法（診断法）へ

座長：阿部　弘太郎（九州大学大学院医学研究院 循環器内科学）
中岡　良和（国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部/病院心臓血管内科）

SY3-1　肺高血圧症の病態形成における DNA 損傷

○磯部　更紗
国際医療福祉大学三田病院

SY3-2　炎症性サイトカインによる肺高血圧症の病態形成機構

○稲垣　薫克、岡澤　慎、浅野　遼太郎、中岡　良和
国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部

SY3-3　左心機能低下に伴う PH モデルの現状と今後

○佐藤　大樹[1]、杉村　宏一郎[2]、安田　聡[1]
[1]東北大学大学院 循環器内科学、[2]国際医療福祉大学 成田病院 循環器内科

SY3-4　前毛細血管性肺高血圧症における右室機能障害―基礎から臨床まで―

○吉田　賢明[1]、細川　和也[2]、阿部　弘太郎[1]
[1]九州大学大学院医学研究院 循環器内科学、[2]九州大学 先端医療オープンイノベーションセンター

12:30〜13:20 ランチョンセミナー 2　Luncheon Seminar 2

PAH 診療における併用療法（Upfront、治療強化）の重要性

座長：福本　義弘（久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門）

LS2-1　肺高血圧診療における併用療法のこれからを考える

○赤木　達
岡山大学病院 医歯薬学総合研究科循環器内科学

LS2-2　ユバンシ®配合錠の実臨床からみる価値について考察する

○細川　和也
九州大学病院 循環器内科

共催：ヤンセンファーマ株式会社/日本新薬株式会社

14:30〜15:10 八巻賞受賞講演　Yamaki Award Lecture

座長：下川　宏明（国際医療福祉大学）
安田　聡（東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野）

YA　肺動脈性肺高血圧症治療の新展開を導く臨床的挑戦と基礎研究

○赤木　達
岡山大学学術研究院医歯薬学域 循環器内科学

15:20〜16:50　スポンサードセミナー 2　Sponsored Seminar 2

循環器内科医に知ってほしい肺疾患合併肺高血圧症の診療

座長：近藤　康博（愛知医科大学医学部 内科学講座（呼吸器・アレルギー内科））
波多野　将（東京大学医学部附属病院 循環器内科/高度心不全治療センター）

SS2-1　間質性肺疾患診療のあゆみと肺高血圧症対応の重要性

○千葉　弘文
札幌医科大学 医学部 内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学分野

SS2-2　呼吸器内科目線の肺疾患合併肺高血圧症治療―呼吸生理と肺循環―

○須田　理香[1,2]
[1]千葉県済生会習志野病院 呼吸器内科・肺高血圧症センター、[2]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学

SS2-3　間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の診療：循環器内科の視点から

○細川　和也
九州大学先端医療オープンイノベーションセンター・循環器内科

共催：持田製薬株式会社　メディカルアフェアーズ部

17:00〜17:30　教育講演 6　Educational Lecture 6

座長：福田　恵一（Heartseed 株式会社）

EL6　肺高血圧症に対する遺伝学検査の実際と疾患関連性の読み解き

○廣野　恵一
富山大学附属病院 小児科診療部門 小児循環器内科

17:40〜18:30　イブニングセミナー 1　Evening Seminar 1

座長：山下　淳（東京医科大学病院 循環器内科）

ES1　CTEPH の治療戦略〜BPA 後を見据えたプレメディケーション〜

○下川原　裕人
国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科/肺高血圧症センター

共催：日本新薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

6 月 14 日(土)　第 3 会場

9:00〜10:30　会長特別企画シンポジウム 1　Presidential Special Symposium 1

画像からアプローチする肺高血圧症の診断治療

座長：長尾　充展（東京女子医科大学 画像診断学・核医学教室）
倉石　博（長野赤十字病院 呼吸器内科）

PSY1-1　肺高血圧症診療における MRI の有用性

○大田　英揮
東北大学病院 メディカルITセンター/放射線診断科

PSY1-2　3 群肺高血圧症における CT 画像解析による予後予測の試み

○川田　奈緒子[1,2]、内藤　亮[1]、岩男　悠真[3,4]、岡本　尚之[3]、鈴木　拓児[1]、羽石　秀昭[3]、
田邉　信宏[1,5]
[1]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学、[2]千葉大学大学院融合理工学府 基幹工学専攻 医工学コース、
[3]千葉大学フロンティア医工学センター、[4]量子科学技術研究開発機構、[5]千葉県済生会習志野病院

PSY1-3　PET/CT を用いた肺高血圧症の病態評価

○田原　宣広[1,2]、古賀　祐樹[1]、杣山　陽一[1]、久貝　忠大[1]、江藤　和子[1]、中村　知久[1]、
戸次　宗久[1]、田原　敦子[1]、本多　亮博[1]、福本　義弘[1]
[1]久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門、[2]久留米大学病院 循環器病センター

PSY1-4　胸部デジタル X 線動態画像検査による肺血流を含む肺機能の評価

○坂巻　文雄[1]、山本　章太[2]、長谷部　光泉[3]
[1]東海大学医学部付属八王子病院 呼吸器内科、[2]University of Wisconsin-Madison、
[3]東海大学医学部付属八王子病院 画像診断科

10:55〜12:10　シンポジウム 4　Symposium 4

肺高血圧症とともに生きる―QOL 向上のために各職種が考えていること―

座長：瀧田　結香（帝京大学医療技術学部 看護学科）
飛田　和基（埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科）

SY4-1　肺血管拡張薬の副作用に対する QOL 向上への薬剤師の関わり

○髙橋　英里華[1]、田村　勝彦[1]、金井　隆安[1]、千木良　寛子[2]、青木　沙知[2]、増田　桃子[3]、
菊池　華子[4]、竹内　かおり[4]、伊波　巧[4]
[1]杏林大学医学部付属病院、[2]杏林大学医学部付属病院 看護部、
[3]杏林大学医学部付属病院 リハビリテーション室、[4]杏林大学病院医学部付属病院 内科学教室

SY4-2　肺高血圧症患者の QOL 向上にむけた本院の取り組み

○中島　菜穂子[1]、田原　宣広[2,3]、古賀　祐樹[3]、福本　義弘[3]
[1]久留米大学病院 看護部、[2]久留米大学病院 循環器病センター、
[3]久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門

SY4-3　生活の質向上のために管理栄養士が考えていること

○中山　奈都子[1]、曽田　武史[2]、中村　研介[3]
[1]鳥取大学医学部附属病院 栄養部、[2]鳥取大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
[3]鳥取大学医学部附属病院 循環器内科

SY4-4　肺高血圧症患者の QOL 向上を目指す多職種介入―理学療法士の役割

○坂本　勇斗[1]、合田　あゆみ[2]、西田　悠一郎[1]、増田　桃子[1]、千木良　寛子[3]、
青木　沙知[3]、伊波　巧[2]、菊池　華子[2]、竹内　かおり[2]、河野　隆志[2]
[1]杏林大学医学部付属病院 リハビリテーション室、[2]杏林大学医学部 循環器内科学教室、
[3]杏林大学医学部付属病院 看護部

SY4-5　患者の QOL 改善と安全安心を目指した運動療法プログラムの工夫

○江口　明世[1,2]、高橋　敬子[1,2]、真鍋　恵理[2]、山内　真哉[3]、藤井　利江[4]、笹沼　直樹[1,3]、
閔　庚徳[2]、朝倉　正紀[2,5]、石原　正治[2]
[1]兵庫医科大学 医療クオリティマネジメント学、[2]兵庫医科大学 循環器・腎透析内科、
[3]兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部、[4]兵庫医科大学病院 看護部、[5]兵庫医科大学 病態解析学

SY4-6　肺高血圧症患者の運動療法への挑戦：エアロビックダンスの可能性

○鈴木　雄也[1]、岡嵜　克洋[1]、吉田　雅博[2]、三井　統子[2]、木村　晃[2]
[1]国家公務員共済組合連合会 名城病院 リハビリテーション部、
[2]国家公務員共済組合連合会 名城病院 循環器内科

12:30〜13:20　ランチョンセミナー 3　Luncheon Seminar 3

肺 NTM 症診療最前線〜診療指針が確立されつつある時代へ〜

座長：鈴木　拓児（千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学）

LS3　肺 MAC 症：新しい診断指針 2024 と治療見解 2023

○萩原　恵里
神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科

共催：インスメッド合同会社

14:30〜15:10　症例検討 1　Case Discussion 1

症例：BPA vs PEA　境界はどこか？

座長：谷口　悠（神戸大学大学院医学研究科 内科学講座・循環器内科学分野）
塩瀬　明（九州大学大学院医学研究院 循環器外科学）
ディスカッサント：石田　敬一（国際医療福祉大学医学部 心臓血管外科）
伊波　巧（杏林大学医学部 循環器内科学教室）
重田　文子（千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科）
下川原　裕人（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 循環器内科）

CD1-1　中枢+末梢型重症 CTEPH に対して PEA か BPA か選択に苦慮した一例

○佐藤　司[1]、福井　重文[1]、秋田　淳年[2]、服部　円香[1]、中嶋　千尋[1]、石川　正人[1]、
村松　崇[1]、高木　靖[2]、安藤　太三[2]、井澤　英夫[1]
[1]藤田医科大学医学部 循環器内科学、[2]藤田医科大学医学部 心臓血管外科学

CD1-2　片側中枢病変を有する CTEPH に対する治療戦略

○高野　凌[1]、上田　仁[1]、清家　愛幹[2]、小徳　暁生[3]、堀之内　宏樹[3]、喜古　崇豊[1]、
辻　明宏[1]、福田　哲也[3]、松田　均[2]、大郷　剛[1]
[1]国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科、
[2]国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 血管外科、[3]国立循環器病研究センター 放射線部

15:15〜15:55　Jamieson CTEPH award

座長：荻野　均（公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 心臓血管外科/東京医科大学病院 心臓血管外科）

JCA1　圧測定カテーテルを用いた新規 BPA 治療戦略

○佐藤　大樹[1]、矢尾板　信裕[1]、樋口　慧[2]、後岡　広太郎[1]、山本　沙織[1]、佐藤　遥[1]、
山田　魁人[1]、大田　英揮[2]、高瀬　圭[2]、安田　聡[1]
[1]東北大学病院 循環器内科、[2]東北大学病院 放射線診断科

JCA2　CTEPH における BPA・PEA の成績

○眞﨑　耕平、細川　和也、阿部　弘太郎
九州大学大学院医学研究院 循環器内科学

16:00〜17:30 学会奨励賞受賞講演　Award Lecture

座長：山岸　敬幸（東京都立小児総合医療センター）
安岡　秀剛（藤田医科大学医学部 リウマチ・膠原病内科）

基礎研究賞

AL1　三次元病理病態解析システムを用いた肺高血圧症の病態解明

○藤原　隆行[1,2]、武田　憲文[3]、石井　聡[1]、波多野　将[1,4]、西村　智[2]、武田　憲彦[1]、
小室　一成[5,6]

[1]東京大学医学部附属病院循環器内科、[2]自治医科大学分子病態研究センター、
[3]東京大学医科学研究所附属病院循環器内科、[4]東京大学医学部附属病院高度心不全治療センター、
[5]東京大学医学部附属病院先端循環器医科学講座、[6]国際医療福祉大学

臨床研究賞

AL2　クローン性造血に着目した CTEPH の遺伝学的解析

○桃井　瑞生
慶應義塾大学医学部 循環器内科

AL3　肺高血圧症における右心不全バイオマーカー同定と病態の解明

○横川　哲朗
福島県立医科大学 循環器内科学講座

AL4　肺動脈性肺高血圧症における三尖弁逆流量の病態意義の解明

○吉田　賢明
九州大学大学院医学研究院 循環器内科学

17:40〜18:30 イブニングセミナー 2　Evening Seminar 2

リクシアナ日本人エビデンスからの知見（VTE・CTEPH）

座長：杉村　宏一郎（国際医療福祉大学医学部 循環器内科学）

ES2-1　がん患者の軽微な血栓症：ONCO DVT Study で分かった事と分からない事

○山下　侑吾
京都大学大学院医学研究科 循環器内科学

ES2-2　CTEPH に対する生涯にわたる抗凝固療法の新たな選択肢〜KABUKI Trial からの知見〜

○阿部　弘太郎[1]、細川　和也[2,3]
[1]九州大学大学院医学研究院 循環器内科学、[2]九州大学病院 循環器内科、
[3]九州大学先端医療オープンイノベーションセンター

共催：第一三共株式会社

6月14日(土)　第4会場

9:00〜10:30　シンポジウム1　Symposium 1

心不全に伴う肺高血圧の治療戦略を再考する

座長：安田　聡(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野)
北井　豪(国立循環器病研究センター 心不全部)

SY1-1　2群PHに対する薬物治療戦略

○佐藤　希美
筑波大学附属病院 循環器内科

SY1-2　運動誘発性肺高血圧症の診断と鑑別

○鏡　和樹、小保方　優、湯浅　直紀、原田　智成、村上　文崇、反町　秀美、石井　秀樹
群馬大学医学部附属病院 循環器内科

SY1-3　二次性MRに対するTEER術後の残存肺高血圧症の予後に及ぼす影響

○中西　直彦、津端　英雄、長井　智之、松原　勇樹、前田　遼太朗、全　完、的場　聖明
京都府立医科大学附属病院

SY1-4　2群肺高血圧への硝酸イソソルビド：肺血管抵抗上昇は自己防衛？

○柏村　健、土谷　浩気、猪又　孝元
新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学

SY1-5　肺血管抵抗を伴うGroup2 PHに対するSGLT2阻害薬：JAPHR registry

○佐藤　大樹[1]、杉村　宏一郎[2]、土肥　由裕[3]、土肥　薫[4]、谷口　悠[5]、波多野　将[6]、坂田　泰史[7]、福本　義弘[8]、安田　聡[1]
[1]東北大学病院 循環器内科、[2]国際医療福祉大学 成田病院 循環器内科、[3]KKR呉共済病院 循環器内科、
[4]三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学、
[5]神戸大学大学院医学系研究科 内科学講座・循環器内科学分野、[6]東京大学 高度心不全治療センター、
[7]大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学、[8]久留米大学 心臓・血管内科

10:40〜11:20　一般演題1　Oral Session 1

慢性血栓塞栓性肺高血圧症 1

座長：泉家　康宏(熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学)
五天　千明(金沢大学附属病院 循環器内科)

OR1-1　CTEPDに対してBPAを行う際にNOを吸入することの有効性と安全性

○福山　千仁、池田　長生、佐藤　学、新倉　寛輝、林　典行、飯島　雷輔、原　英彦
東邦大学医療センター大橋病院

OR1-2　CTEPD without PHに対しPEAを施行した2症例の検討

○寺澤　幸枝[1]、中野　嘉久[2]、足立　史郎[2]、室原　豊明[2]、安藤　太三[3]、六鹿　雅登[1]
[1]名古屋大学医学部附属病院 心臓外科、[2]名古屋大学医学部附属病院 循環器内科、[3]大阪健康管理センター

OR1-3　肺微小循環障害評価における Pressure Wire の可能性

○佐藤　修司、伊藤　拓朗、岩川　幹弘、田中　康二郎、戸谷　俊介、野中　翔矢、
美甘　周史、清水　一寛
東邦大学医療センター佐倉病院 循環器内科

OR1-4　CTEPD without PH に対する BPA の有用性

○喜古　崇豊、浅野　遼太郎、藤崎　真也、髙野　凌、西　成寛、林　浩也、上田　仁、
辻　明宏、大郷　剛
国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

11:20〜12:10　一般演題 2　Oral Session 2

慢性血栓塞栓性肺高血圧症 2

座長：塩瀬　明（九州大学大学院医学研究院 循環器外科学）
山下　淳（東京医科大学病院 循環器内科）

OR2-1　慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における肺血管拡張薬の短期効果

○島　秀起[1]、佐藤　隆博[1,2]、小森　卓[1]、吉川　修平[1]、中村　順一[1]、辻野　一三[1,2]、
今野　哲[1,2]
[1]北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室、
[2]北海道大学大学院医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野

OR2-2　SPECT/CT によるセレキシパグ内服前後の肺灌流定量評価

○小橋　宗一郎、下川原　裕人、兼澤　弥咲、横濱　ふみ、黒沼　圭一郎、木村　朋生、
重歳　正尚、田渕　勲、渡邊　敦之、松原　広己
国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科

OR2-3　慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するハイブリッド治療の最前線

○藤井　寛之[1,2]、田村　雄一[1]、磯部　更紗[1]、坂元　美季[2]、住本　恵子[2]、谷仲　謙一[2]、
岡田　健次[3]、江本　憲昭[2,4]、大竹　寛雅[2]、谷口　悠[2]
[1]国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧センター、[2]神戸大学大学院医学研究科内科学講座 循環器内科学分野、
[3]神戸大学大学院医学研究科外科学講座 心臓血管外科学分野、[4]神戸薬科大学 臨床薬学研究室

OR2-4　左右で病型が異なった CTEPH の 2 症例

○中村　順一[1]、小森　卓[1]、吉川　修平[1]、島　秀起[1]、佐藤　隆博[1,2]、大岡　智学[3]、
辻野　一三[1,2]、今野　哲[1,2]
[1]北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室、
[2]北海道大学大学院医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野、
[3]北海道大学大学院医学研究院 心臓血管外科学教室

OR2-5　ペースメーカー感染により肺塞栓を繰り返した CTEPH の 1 例

○佐藤　隆博[1,2]、小森　卓[1]、島　秀起[1]、中村　順一[1]、直　亨則[3]、中久保　祥[1]、
若林　健人[4]、辻野　一三[1,2]、今野　哲[1,2]
[1]北海道大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学教室、
[2]北海道大学大学院 医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野、
[3]北海道大学One Healthリサーチセンター、[4]北海道大学病院 病理診断科

12:30〜13:20 ランチョンセミナー 4　Luncheon Seminar 4

座長：今野　哲（北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室）

LS4　肺高血圧症の呼吸管理　HOT から HFNC、在宅 NPPV まで

○須田　理香[1,2]

[1]千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター、[2]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学

共催：帝人ヘルスケア株式会社

14:30〜15:10 症例検討 2　Case Discussion 2

症例から学ぶ ILD-PH に対する吸入トレプロスチニル

座長：近藤　康博（愛知医科大学医学部 内科学講座（呼吸器・アレルギー内科））
坂尾　誠一郎（国際医療福祉大学医学部 呼吸器内科学教室）

CD2-1　トレプロスチニル吸入で治療後、効果判定に苦慮した IPF-PH の 1 例

○西山　理

近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科

CD2-2　吸入トレプロスチニルの追加が有効であった PH-CPFE 症例の検討

○岡谷　匡[1]、眞田　喬行[1]、杉村　宏一郎[2]、河村　朗夫[2]、坂尾　誠一郎[1]

[1]国際医療福祉大学成田病院 呼吸器内科、[2]国際医療福祉大学成田病院 循環器内科

15:15〜15:45 教育講演 5　Educational Lecture 5

座長：花岡　正幸（信州大学学術研究院医学系医学部 内科学第一教室）

EL5　肺高血圧症に対する肺移植の現状

○芳川　豊史

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学

16:00〜17:15 シンポジウム 6　Symposium 6

肺高血圧症に対する肺移植で抑えておくべきポイント

座長：芳川　豊史（名古屋大学大学院 医学系研究科 呼吸器外科学）
重田　文子（千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科）

SY6-1　肺高血圧症に対する肺移植〜非実施施設と実施施設を経験して〜

○足立　史郎

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科

SY6-2　肺高血圧症に対する肺移植術における循環器的問題とその管理

○木下　秀之[1,2]、田中　里奈[3]、坂之上　一朗[3]、栢分　秀直[3]、豊　洋次郎[3]、住友　亮太[3]、
西川　滋人[3]、毛受　暁史[3]、中島　大輔[3]

[1]京都大学医学部附属病院 循環器内科、[2]京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座、
[3]京都大学医学部附属病院 呼吸器外科

SY6-3　肺高血圧症に対する脳死肺移植：ECMO 使用戦略と出血リスク

○此枝　千尋、川島　光明、佐藤　雅昭

東京大学医学部附属病院 呼吸器外科

SY6-4　肺高血圧症に対する肺移植　生体肺移植の工夫と成績

○田中　里奈[1]、栢分　秀直[1]、坂之上　一朗[1]、住友　亮太[1]、西川　滋人[1]、豊　洋次郎[1]、
毛受　暁史[1]、馬場　志郎[2]、木下　秀之[3,4]、中島　大輔[1]
[1]京都大学医学部附属病院 呼吸器外科、[2]京都大学医学部附属病院 小児科、
[3]京都大学医学部附属病院 循環器内科、[4]京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座

SY6-5　巨大肺動脈瘤を伴う肺動脈性肺高血圧症に対する高難度肺移植

○大石　久、渡邉　龍秋、渡辺　有為、平間　崇、熊田　早希子、東郷　威男、
小野寺　賢、鈴木　隆哉、野津田　泰嗣、岡田　克典
東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野

SY6-6　肺高血圧症に対する肺移植のリハビリテーション

○稲垣　武
千葉県立保健医療大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

17:40〜18:30　イブニングセミナー 3　Evening Seminar 3

座長：伊波　巧（杏林大学医学部付属病院 循環器内科）

ES3　BPA 治療戦略　ビギナー〜エキスパートまで　東邦大橋 STYLE

○池田　長生
東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

コメンテーター：安西　淳（慶應義塾大学病院 循環器内科）
鍵山　弘太郎（上尾中央総合病院 循環器内科）
小村　直弘（横浜市立大学病院 循環器内科）

共催：ニプロ株式会社

6月14日(土)　第5会場

9:00〜9:50　一般演題 3　Oral Session 3

私たちの新しい取り組み

座長：辻野　一三（北海道大学大学院医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野）
瀧田　結香（帝京大学 医療技術学部 看護学科）

OR3-1　3DCT 画像のリアルタイム表示を BPA に導入した当院での取り組み

○星子　桃佳[1]、伊藤　勝祥[1]、福井　重文[2]、服部　円香[2]、佐藤　司[2]、瀧川　雄貴[2]、
中嶋　千尋[2]、石川　正人[2]、村松　崇[2]、井澤　英夫[2]
[1]藤田医科大学病院 放射線部、[2]藤田医科大学病院 循環器内科

OR3-2　より良いトレプロスト吸入療法導入プログラムを目指して

○畔蒜　歩実[1]、福岡　良磨[2]、川尻　夏海[1]、新井　志帆[1]、大沼　芽加[1]、松澤　英輝[1]、
岡谷　匡[3]、鎌田　あゆみ[1]、杉村　宏一郎[2]、坂尾　誠一郎[3]
[1]国際医療福祉大学成田病院 看護部、[2]国際医療福祉大学成田病院 循環器内科、
[3]国際医療福祉大学成田病院 呼吸器内科

OR3-3　学会と製薬会社の協働で成功したウプトラビの小児適応拡大

○岩朝　徹[1]、犬塚　亮[2]、小野　博[3]、杉谷　雄一郎[4]、山澤　弘州[5]、小林　徹[6]、三浦　大[7]、
安河内　聰[8]、宮永　悟[9]、清水　雄斗[9]
[1]国立循環器病研究センター 小児循環器内科、[2]東京大学医学部附属病院 小児科、
[3]国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部、[4]地域医療機能推進機構 九州病院 小児科、
[5]北海道大学大学院医学研究院 小児科、[6]国立成育医療研究センター データサイエンス部、
[7]東京都立小児総合医療センター 循環器科、
[8]社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 臨床検査センター・エコーセンター、
[9]日本新薬株式会社 研究開発本部 開発統括部 臨床開発部

OR3-4　肺高血圧症患者に対する心臓リハビリネットワークの活動報告

○安藤　可織[1]、石井　大遥[2]、稲垣　武[3]、勝部　翔[4]、坂本　勇斗[5]、飛田　和基[6]、
中尾　周平[7]
[1]岡山赤十字病院 リハビリテーション科、[2]関東中央病院 リハビリテーション室、
[3]千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻、
[4]国立病院機構岡山医療センター リハビリテーション科、[5]杏林大学医学部付属病院 リハビリテーション室、
[6]埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科、[7]鹿児島大学病院 リハビリテーション部

OR3-5　肺高血圧症患者における性行為指導の具体化への取り組み

○米川　葵[1]、片野　唆敏[2]、中島　直美[1]、賀古　千亜紀[1]、市岡　英恵[3]、熊谷　康平[4]、
戸田　皓二郎[6]、小山　雅之[5,6]、古橋　眞人[6]、橋本　暁佳[6,7]
[1]札幌医科大学附属病院 看護部、[2]札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部、
[3]札幌医科大学附属病院 薬剤部、[4]札幌医科大学附属病院 医療連携福祉センター、
[5]札幌医科大学 公衆衛生学講座、[6]札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座、
[7]札幌医科大学 病院管理学

9:50～10:30　一般演題 4　Oral Session 4

検査診断 1

座長：村田　光繁（杏林大学医学部 循環器内科）
関根　亜由美（千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学）

OR4-1　Clinical classification in mild pulmonary hypertension

○多屋　慧、江尻　健太郎、赤木　達、中村　一文、湯浅　慎介
岡山大学病院

OR4-2　肺高血圧症（平均肺動脈圧＞20 mmHg）の心電図所見の検討

○三谷　麻子[1]、佐藤　隆博[2,3]、原田　亜実[1]、岩井　孝仁[1]、井上　真美子[1]、中村　順一[2]、
今野　哲[2,3]、辻野　一三[2,3]、山下　直樹[1]、豊嶋　崇徳[1]
[1]北海道大学病院 検査・輸血部、[2]北海道大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学教室、
[3]北海道大学大学院 医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野

OR4-3　肺動脈楔入圧の代用として拡張期肺動脈圧の可能性の検討

○山本　淳生、三和　圭介、絹谷　洋人、高谷　具史、川合　宏哉
兵庫県立はりま姫路総合医療センター

OR4-4　帝王切開時の母体循環血液量について心臓超音波検査を用いた検討

○桂木　真司
宮崎大学医学部附属病院

10:30〜11:20　一般演題 5　Oral Session 5

5 群 PH 1

座長：小野　文明(三保町内科・循環器クリニック)
窪田　佳代子(鹿児島大学病院 心臓血管内科)

OR5-1　肺静脈病変に伴う選択的肺水腫を生じた Sarcoidosis 関連 PH の一例

○喜古　崇豊[1]、浅野　遼太郎[1,2]、藤崎　真也[1]、髙野　凌[1]、西　成寛[1]、林　浩也[1]、
上田　仁[1]、辻　明宏[1]、大郷　恵子[3]、大郷　剛[1]
[1]国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科、[2]国立循環器病研究センター 血管生理学部、
[3]国立循環器病研究センター 病理部

OR5-2　薬物療法継続を断念したキャッスルマン病による第 5 群 PH の 1 例

○加藤　豪浩、福山　千仁、浅見　雅子、池田　長生、林　典行、飯島　雷輔、原　英彦
東邦大学医療センター大橋病院

OR5-3　骨髄繊維症に伴う肺高血圧症に対し肺高血圧治療薬を使用した 1 例

○ウェルズ　健[1]、木下　秀之[1,2]、大西　芽衣[1,3]、大井　磨紀[4]、山地　杏平[1]、渡邉　真[1]、
中川　靖章[1,5]、桑原　宏一郎[6]、尾野　亘[1]
[1]京都大学医学部附属病院 循環器内科、[2]京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座、
[3]静岡市立静岡病院 循環器内科、[4]大津赤十字病院 循環器内科、
[5]公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 健康管理センター・心臓センター循環器内科、
[6]信州大学医学部 循環器内科学教室

OR5-4　吸入 Treprostinil が著効した神経線維腫症に伴う肺高血圧症の 1 例

○岡谷　匡[1]、杉村　宏一郎[2]、眞田　喬行[1]、河村　朗夫[2]、坂尾　誠一郎[1]
[1]国際医療福祉大学成田病院 呼吸器内科、[2]国際医療福祉大学成田病院 循環器内科

OR5-5　PH を伴うランゲルハンス細胞組織球症に BRAF 阻害薬を投与した 1 例

○鈴木　宣史、長岡　鉄太郎、寺山　有理子、永田　祐一、吉田　隆司、栗山　祥子、
高橋　和久
順天堂大学 医学部 呼吸器内科

11:20〜12:10　一般演題 6　Oral Session 6

左心疾患に伴う肺高血圧症とその他 PH

座長：坂田　泰史(大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学)
中村　一文(岡山大学病院 重症心不全センター)

OR6-1　心不全における肺動脈反射波圧の臨床的意義

○小泉　貴洋、葉山　裕真、齋藤　充宏、井出　志穂、池田　長生、中村　啓二郎、
原　英彦
東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

OR6-2　異なる機序で生じた第 2 群肺高血圧症の 2 例―診断と管理について

○北川　篤史[1,2]、宮城　佳史[1]、加藤　寛幸[1]
[1]榛原総合病院 小児科、[2]北里大学 医学部小児科学

OR6-3　重症肺高血圧症による血行動態破綻を来した僧帽弁狭窄症の一例

○山邊　小百合、岡田　恒、桜井　勇明、香山　京美、新谷　康広、溝口　達也、
森　賢人、菊池　祥平、伊藤　剛、瀬尾　由広
名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科学

OR6-4　静注 PGI_2 製剤使用中に下垂体機能不全を併発した肺高血圧症の一例

○西浦　司人[1]、中里　和彦[1]、及川　雅啓[1]、佐藤　勇太朗[1]、三浦　俊輔[1]、清水　竹史[1]、
矢吹　峻也[2]、竹石　恭知[1]
[1]福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座、[2]福島県立医科大学 糖尿病内分泌代謝内科学講座

OR6-5　トルコ鞍空洞症候群による副腎不全を合併した肺高血圧症の 1 例

○八木　秀介[1]、谷　彰浩[2]、高橋　智子[2]、門田　宗之[2]、伊勢　孝之[2]、佐田　政隆[2]
[1]徳島大学病院 総合診療部、[2]徳島大学病院 循環器内科

12:30〜13:20　ランチョンセミナー 5　Luncheon Seminar 5

座長：守尾　嘉晃(国立病院機構東京病院 呼吸器内科/呼吸器センター/肺循環喀血センター)

LS5　間質性肺疾患に伴う肺高血圧症　診断と治療の最前線

○富貴原　淳
公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科

共催：持田製薬株式会社

13:30〜14:10　一般演題 7　Oral Session 7

リハビリテーション・患者ケア 1

座長：稲垣　武(千葉県立保健医療大学健康科学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻)
髙山　直子(東京大学医学部附属病院 看護部)

OR7-1　CTEPH に対する BPA 治療後に身体活動量を安全に再獲得できた症例

○鈴木　雄也[1]、岡嵜　克洋[1]、吉田　雅博[2]、三井　統子[2]、木村　晃[2]
[1]国家公務員共済組合連合会 名城病院 リハビリテーション部、
[2]国家公務員共済組合連合会 名城病院 循環器内科

OR7-2　CTEPH に対する BPA 後の 6 分間歩行距離の変化と身体所見の関係

○藤内　宏典[1]、堀　弘明[1]、小森　卓[2]、島　秀起[2]、中村　順一[2]、杉本　絢子[2]、
佐藤　隆博[2,3]、辻野　一三[2,3]、今野　哲[2,3]
[1]北海道大学病院リハビリテーション部、[2]北海道大学大学院医学研究院呼吸器内科教室、
[3]北海道大学病院医学研究院呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野

OR7-3　BPA 後の CTEPH 患者における運動時換気血流比についての検討

○勝部　翔、西﨑　真里、山口　雄太、岡田　真理香、大石　達也、守谷　梨絵、
中野　愛理、松尾　剛
独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター リハビリテーション科

OR7-4　呼吸困難がある患者に PGI_2 製剤吸入手技獲得への支援

○井手　彩夏[1,2]、木原　由貴[1]、吉田　賢明[2]、郡山　遥平[2]、細川　和也[2]、藤岡　智恵子[1]、
阿部　弘太郎[2]
[1]九州大学病院 救命救急センター（CCU）、[2]九州大学病院 循環器内科

14:10〜14:50 一般演題 8　Oral Session 8

リハビリテーション・患者ケア 2

座長：飛田　和基（埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科）
中島　菜穂子（久留米大学病院 看護部）

OR8-1　肺高血圧症患者における最大呼気流速度の評価意義

○中尾　周平[1]、宮永　直[2]、光吉　こころ[2]、赤尾　光優[2]、窪田　佳代子[2]、大石　充[2]
[1]鹿児島大学病院 医療技術部 リハビリテーション部門、
[2]鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学

OR8-2　基幹病院との連携により外来心臓リハビリが有効であった PAH 症例

○長嶺　庸介[1,3]、高潮　征爾[2]
[1]たかしお内科ハートクリニック 心臓リハビリテーション室、[2]たかしお内科ハートクリニック 循環器内科、
[3]宮崎大学医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻

OR8-3　肺高血圧症患者における 1 分間椅子立ち上がり中の心拍応答の特徴

○稲垣　武[1]、竹田　健一郎[2]、重田　文子[2]、葉山　奈美[2]、川目　千晶[2]、檜木　康之[3]、
佐久間　俊紀[2]、田邉　信宏[2,4]、鈴木　拓児[2]
[1]千葉県立保健医療大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、
[2]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学、[3]千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
[4]千葉県済生会習志野病院 肺高血圧センター

OR8-4　肺高血圧症患者における 1 分間椅子立ち上がりと 6 分間歩行の比較

○竹田　健一郎[1]、重田　文子[1]、稲垣　武[2]、葉山　奈美[1]、川目　千晶[1]、檜木　康之[3]、
佐久間　俊紀[1]、田邉　信宏[1,4]、鈴木　拓児[1]
[1]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学、
[2]千葉県立保健医療大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、
[3]千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部、[4]千葉県済生会習志野病院 肺高血圧センター

14:50〜15:50 一般演題 9　Oral Session 9

薬物治療

座長：近藤　隆久（名古屋医療センター 臨床研究センター）
矢尾板　信裕（東北大学病院 循環器内科）

OR9-1　肺高血圧症症例における PGI2 製剤投与中の下垂体機能低下

○佐藤　大樹[1]、杉村　宏一郎[2]、田村　雄一[3]、高間　典明[4]、田邉　信宏[5]、波多野　将[6]、
小川　愛子[7]、松原　広己[7]、福本　義弘[8]
[1]東北大学病院 循環器内科、[2]国際医療福祉大学 成田病院 循環器内科、
[3]国際医療福祉大学 三田病院 循環器内科、[4]群馬大学大学院医学系研究科 循環器内科学、
[5]千葉県済生会習志野病院、[6]東京大学 高度心不全治療センター、[7]岡山医療センター 循環器内科、
[8]久留米大学 心臓・血管内科

OR9-2　日本人 PAH 患者の Sotatercept 非盲検第 3 相試験長期投与データ

○大郷　剛[1]、松原　広己[2]、田邉　信宏[3]、阿部　弘太郎[4]、伊波　巧[5]、前田　裕子[6]、
岡本　太郎[6]、白川　将義[6]、酒井　亮祐[6]、Alexandra Cornell[7]
[1]国立循環器病研究センター 肺循環科、[2]国立病院機構岡山医療センター 循環器内科、
[3]千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター、[4]九州大学大学院医学研究院 循環器内科学、
[5]杏林大学医学部付属病院 循環器内科、[6]MSD株式会社 グローバル研究開発本部、
[7]Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA

OR9-3　トレプロスチニルとイロプロストの吸入による血行動態変化

○杉山　智美、足立　史郎、廣瀬　未来、西山　軼群、中野　嘉久、室原　豊明
名古屋大学医学部附属病院 循環器内科

OR9-4　JAPHR 調査研究：PAH における PGI2 系薬剤投与患者の治療実態

○松岡　孝一[1]、村上　宏治[1]、大谷　星也[1]、隈丸　拓[2,4]、田村　雄一[3,4]、
All Investigators JAPHR[4]
[1]日本新薬株式会社 メディカルアフェアーズ、[2]東京大学大学院医学研究科 医療品質評価学、
[3]国際医療福祉大学医学部 循環器内科学、[4]NPO法人Japan PH Registry

OR9-5　肺動脈性肺高血圧症に対するセレキシパグの有効性・安全性評価

○浅野　遼太郎[1,2]、喜古　崇豊[2]、遠藤　寛之[2]、川端　孝典[3]、上田　仁[2]、辻　明宏[2]、
松岡　孝一[4]、村上　宏治[4]、朝倉　こう子[3]、大郷　剛[2]
[1]国立循環器病研究センター 血管生理学部、[2]国立循環器病研究センター 心臓血管内科、
[3]国立循環器病研究センター データサイエンス部、[4]日本新薬株式会社 メディカルアフェアーズ

OR9-6　高リスク肺動脈性肺高血圧症患者の初期併用療法戦略

○浦田　翔一、伊波　巧、石橋　洋平、竹内　かおり、菊池　華子、合田　あゆみ、
河野　隆志、副島　京子
杏林大学医学部付属病院 循環器内科

15:50〜16:50　一般演題 10　Oral Session 10

膠原病性肺高血圧症 1

座長：田中　住明（北里大学メディカルセンター リウマチ・膠原病内科）
武内　徹（大阪医科薬科大学 リウマチ膠原病内科）

OR10-1　11 年の経過で肺高血圧症の進行を認めた CREST 症候群の一例

○武知　寛樹[1]、土屋　ひろみ[1]、神津　侑希[1]、油井　貴也[1]、和佐本　諭[1]、柳澤　悟[2]、
大浦　也明[1]、倉石　博[2]
[1]佐久医療センター、[2]日本赤十字社長野赤十字病院

OR10-2　全身性強皮症患者における前腕動脈超音波検査の臨床的意義

○藤田　俊一、山田　雅智、水田　耀、池田　政勝、小出　侑佳、浅野　澄恵、
守田　吉孝、中野　和久
川崎医科大学 リウマチ・膠原病学

OR10-3　CTD-PAH における %DLco 低値群の臨床的特徴

○藤崎　真也[1,2]、髙野　凌[1,2]、林　浩也[1]、浅野　遼太郎[3]、大郷　恵子[4]、野口　輝夫[2,5]、
辻田　賢一[6]、大郷　剛[1]
[1]国立循環器病研究センター 心臓血管内科 肺循環科、[2]熊本大学大学院 循環器先進医療学、
[3]国立循環器病研究センター 血管生理学部、[4]国立循環器病研究センター 病理部、
[5]国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科、[6]熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科

OR10-4　トレプロストにより治療した全身性強皮症合併肺高血圧症の 1 例

○宍戸　瑛理[1]、松枝　佑[1]、田中　住明[2]、山岡　邦宏[1]
[1]北里大学医学部 リウマチ膠原病・感染症内科、[2]北里大学メディカルセンター リウマチ・膠原病内科

OR10-5　肺血管拡張薬により治療された膠原病性肺高血圧症の長期予後

○松枝　佑[1]、田中　住明[1,2]、宍戸　瑛理[1,3]、山岡　邦宏[1]
[1]北里大学医学部 リウマチ膠原病・感染内科、[2]北里メディカルセンター、[3]JA静岡厚生連 清水厚生病院

OR10-6 anti-synthetase syndrome に合併した肺高血圧症の検討

○大熊　尭、丹羽　崇、大利　亮太、酒寄　雅史、奥田　良、北村　英也、馬場　智尚、
小松　茂、萩原　恵理、小倉　髙志
神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科

16:50〜17:40 一般演題 11　Oral Session 11

慢性血栓塞栓性肺高血圧症 3

座長：楠瀬　賢也(琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座)
深井　邦剛(近江八幡市立総合医療センター 循環器内科)

OR11-1 手術適応外の CTEPH の BPA 後の酸素化改善に関連する因子について

○坂元　美季[1]、谷口　悠[1]、藤井　寛之[1]、谷仲　謙一[1]、江本　憲昭[1,2]、大竹　寛雅[1]
[1]神戸大学医学部附属病院 循環器内科、[2]神戸薬科大学 臨床薬学研究室

OR11-2 運動後低酸素血症遷延を示す慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者の特徴

○大原　彩友美[1]、村山　迪史[2]、井上　真美子[1]、山本　雅史[1]、早坂　光司[1]、山下　直樹[1]、
豊嶋　崇徳[1]、辻野　一三[3]、今野　哲[3]
[1]北海道大学病院 検査・輸血部、[2]北海道大学 大学院保健科学研究院、
[3]北海道大学 大学院医学研究院 呼吸器内科学教室

OR11-3 BPA 後の CTEPH に対する運動負荷心エコーの有用性

○横森　広樹、橋本　剛、池田　長生、原　英彦
東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

OR11-4 BPA 治療後評価における心肺運動負荷試験の有効性と限界

○深井　邦剛[1]、奥村　高弘[2]、酒井　宏[3]
[1]近江八幡市立総合医療センター 循環器内科、[2]近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション科、
[3]滋賀医科大学附属病院 循環器内科

OR11-5 運動負荷心臓 MRI による CTEPD without PH に対する BPA の効果検討

○今林　都咲[1]、吉田　賢明[1]、細川　和也[1]、和泉　遼[1]、池田　恵[2]、豊村　大亮[3]、
山崎　誘三[4]、稗田　道成[2]、石神　康生[4]、阿部　弘太郎[1]
[1]九州大学病院 循環器内科、[2]九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科、[3]九州大学病院 小児科、
[4]九州大学 大学院医学研究院 臨床放射線科学分野

17:40〜18:20 一般演題 12　Oral Session 12

肺動脈性肺高血圧症 1

座長：中里　和彦(福島県立医科大学 循環器内科学講座)
重田　文子(千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科)

OR12-1 肺高血圧を契機に診断された心房中隔欠損症と悪性リンパ腫の 1 例

○土居　拓史、近間　俊介、黒沼　圭一郎、下川原　裕人、松原　広己
独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科

OR12-2 診断治療に苦慮した門脈体循環シャントによる肺高血圧症の 1 例

○峯岸　美智子、安藤　和秀、西尾　理沙、富澤　美夏、岡田　英樹、佐々木　孝志、
小林　洋明、庭前　野菊
前橋赤十字病院 心臓血管内科

OR12-3 *BMPR2* 変異保因者のフォロー中に重症 PAH を発症した一例

○馬嶋　英玲奈、喜古　崇豊、髙野　凌、藤崎　真也、赤尾　光優、西　成寛、
林　浩也、上田　仁、辻　明宏、大郷　剛
国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

OR12-4 肺動脈性肺高血圧症における新規 *ZC3H12A* バリアントの同定

○浅野　遼太郎[1,2]、岡澤　慎[1]、石橋　知彦[1]、丁　欣[1]、稲垣　薫克[1]、大郷　剛[2]、
中岡　良和[1,2]
[1]国立循環器病研究センター 血管生理学部、[2]国立循環器病研究センター 心臓血管内科

18:20〜19:00 一般演題 13　Oral Session 13

呼吸器 1

座長：長内　忍（旭川医科大学内科学講座 呼吸器・脳神経内科学分野）
眞田　喬行（国際医療福祉大学成田病院 呼吸器内科）

OR13-1 各種肺高血圧症予後評価における PAH リスク分類の有用性の検討

○宮崎　奏[1,2,3]、永田　淳[1,3]、須田　理香[1,3]、伊藤　遼[1,3]、佐藤　嵩浩[1,3]、杉浦　寿彦[1,3]、
家里　憲[3]、黒田　文伸[3]、漆原　崇司[2]、田邉　信宏[1,3]
[1]千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター、[2]君津中央病院 呼吸器内科、
[3]千葉県済生会習志野病院 呼吸器内科

OR13-2 3 群肺高血圧症における 2022 年 ESC/ERS ガイドラインのリスク分類

○山本　慶子[1]、田邉　信宏[1,2]、内藤　亮[1]、須田　理香[1,2]、関根　亜由美[1]、杉浦　寿彦[1]、
重田　文子[1]、巽　浩一郎[1]、鈴木　拓児[1]
[1]千葉大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学、[2]千葉県済生会習志野病院肺高血圧センター

OR13-3 間質性肺炎合併 PH における「1 群要素を示唆する指標」の意義

○富貴原　淳、萩本　聡、武井　玲生仁、笹野　元、山野　泰彦、片岡　健介、
木村　智樹、近藤　康博
公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科

OR13-4 自己免疫特徴を伴う慢性肺疾患合併肺高血圧症の臨床像

○吉田　隆司、長岡　鉄太郎、寺山　友理子、永田　祐一、鈴木　宜史、栗山　祥子、
高橋　和久
順天堂大学医学部呼吸器内科学講座

6 月 14 日(土)　第 6 会場

10:00〜11:15 シンポジウム 2　Symposium 2

先天性心疾患に伴う肺高血圧症の諸問題

座長：宗内　淳（独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院 小児科）
細川　奨（武蔵野赤十字病院 小児科）

SY2-1　先天性心疾患の術後肺高血圧に対する人工呼吸

○竹内　宗之
国立循環器病研究センター 集中治療部

SY2-2　Eisenmenger 症候群の病態の多様性と Treat and Repair

○八尾　厚史
東京大学 保健・健康推進本部

SY2-3　主要体肺側副動脈を伴う区域性肺高血圧症への標的治療薬の効果

○内田　敬子[1,2]
[1]東京医科大学 細胞生理学、[2]慶應義塾大学医学部 小児科

SY2-4　Fontan 循環に対する肺血管拡張薬使用の実態と有効性

○石田　秀和[1]、石井　卓[2]、内田　敬子[3]、細川　奨[4]、高月　晋一[5]、住友　直文[6]、
福島　裕之[7]、小垣　滋豊[8]、山岸　敬幸[9]、土井　庄三郎[10]
[1]大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、[2]東京科学大学小児科、[3]東京医科大学 細胞生理学、
[4]武蔵野赤十字病院小児科、[5]東邦大学医療センター大森病院小児科、[6]慶應義塾大学医学部小児科、
[7]東京歯科大学市川総合病院小児科、[8]大阪急性期・総合医療センター小児科・新生児科、
[9]東京都立小児総合医療センター、[10]東京医療保健大学

11:20〜12:20　一般演題 14　Oral Session 14

小児科領域の肺循環障害（Fontan 循環、MAPCA などを含む）

座長：三谷　義英（三重大学大学院医学系研究科 小児科学）
小野　博（国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部）

OR14-1　VSD/PA/MAPCA における肺高血圧症治療に関する系統的レビュー

○廣野　恵一
富山大学 附属病院 小児科

OR14-2　運動誘発性肺高血圧を来たすフォンタン症例の心大血管形態の特徴

○東　浩二、前田　佳真、佐藤　要、矢野　瑞貴、西畑　綾夏、石井　徹子
千葉県こども病院 循環器内科

OR14-3　Fontan 術後の再発性 PVO に肺血管 Capacitance が有用であった一例

○峰松　伸弥[1,2]、宗内　淳[1]、峰松　優季[1]、田中　惇史[1]、池田　正樹[1]、豊村　大亮[1]、
清水　大輔[1]、杉谷　雄一郎[1]、渡邉　まみ江[1]
[1]JCHO九州病院、[2]佐賀大学医学部附属病院

OR14-4　Fontan 術後の肺高血圧にトレプロスチニル吸入薬を導入した 1 例

○若宮　卓也、橘高　康文、小森　和磨、矢内　敦、池川　健、加藤　昭生、小野　晋、
柳　貞光、上田　秀明
神奈川県立こども医療センター

OR14-5　Treat and “Fontan” strategy でチアノーゼを脱した成人単心室症例

○石北　綾子[1]、坂本　一郎[1]、浅川　宗俊[1]、西﨑　晶子[1]、柿野　貴盛[1]、城尾　邦彦[2]、
安東　勇介[2]、園田　拓道[2]、塩瀬　明[2]、阿部　弘太郎[1]
[1]九州大学病院 循環器内科、[2]九州大学病院 心臓血管外科

OR14-6　小児期片肺循環の肺循環・肺動脈圧への影響

○齋木　宏文、西村　和佳乃、工藤　諒、齋藤　寛治、滝沢　友里恵、佐藤　啓、
桑田　聖子、中野　智
岩手医科大学 小児科学講座 小児循環器分野

13:30〜14:30 一般演題 15　Oral Session 15

先天性心疾患（小児、成人）

座長：東　浩二（千葉県こども病院 循環器内科）
早渕　康信（徳島大学病院 小児科 地域小児科診療部）

OR15-1 心臓 MRI から算出した肺血管キャパシタンス

○豊村　大亮、田中　惇史、清水　大輔、杉谷　雄一郎、渡邊　まみ江、宗内　淳
JCHO九州病院 循環器小児科

OR15-2 先天性心疾患を伴う肺高血圧症例における小児例と成人例の予後

○石井　卓[1]、内田　敬子[2]、細川　奨[3]、石田　秀和[4]、高月　晋一[5]、住友　直文[6]、
福島　裕之[7]、小垣　滋豊[8]、山岸　敬幸[9]、土井　庄三郎[10]
[1]東京科学大学 小児科、[2]東京医科大学 細胞生理学、[3]武蔵野赤十字病院 小児科、
[4]大阪大学 大学院医学系研究科小児科学、[5]東邦大学医療センター大森病院 小児科、
[6]慶應義塾大学 医学部小児科、[7]東京歯科大学市川総合病院 小児科、
[8]大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科、[9]東京都立小児総合医療センター、[10]東京医療保健大学

OR15-3 卵円孔狭小化に伴う 2 群 PH により治療に難渋した先天性心疾患の 2 例

○末廣　友里、石田　秀和、林田　由伽、馬場　達也、廣瀬　将樹、加藤　温子、
石井　良、成田　淳、北畠　康司
大阪大学大学院医学系研究科 小児科学

OR15-4 未修復のチアノーゼ性完全型房室中隔欠損患者の術前血行動態評価

○小林　壮一朗[1]、荻原　義人[1]、佐藤　徹[1]、水谷　花菜[1]、淀谷　典子[2]、大橋　啓之[2]、
澤田　博文[2]、三谷　義英[2]、前田　正信[3,4]、土肥　薫[1]
[1]三重大学医学部附属病院 循環器内科、[2]三重大学医学部附属病院 小児科、[3]一宮西病院 心臓血管外科、
[4]名古屋ハートセンター 心臓血管外科

OR15-5 遷延する肺高血圧を呈した完全大血管転位大血管転換術後の 2 例

○中村　香絵[1]、佐々木　赳[1]、藤野　光洋[1]、川崎　有希[1]、吉田　葉子[1]、鈴木　嗣敏[1]、
小澤　秀登[2]、鍵﨑　康治[2]、杉山　央[1]
[1]大阪市立総合医療センター 小児循環器・不整脈内科、[2]同 小児心臓血管外科

OR15-6 総肺静脈還流異常症術後に重症肺動脈性肺高血圧を呈した乳児例

○川合　玲子[1,2,3]、田中　啓輔[2]、佐藤　光央[1]、川村　悠太[1]、磯部　将[2]、清水　由律香[1]、
増本　健一[3]、片山　雄三[2]、高月　晋一[1]
[1]東邦大学医療センター大森病院 小児科、[2]東邦大学医療センター大森病院 心臓血管外科、
[3]東邦大学医療センター大森病院 新生児科

14:40〜15:10 教育講演 4　Educational Lecture 4

座長：小暮　智仁（東京女子医科大学 循環器内科）

EL4 Fontan 循環に合併する肺血管病変と薬物治療の実際

○稲井　慶
東京女子医科大学 循環器小児・先天性心疾患科

15:15〜16:30 シンポジウム 5　Symposium 5

新生児期から小児期の特有の肺高血圧疾患

座長：廣野　恵一（富山大学附属病院 小児科診療部門 小児循環器内科）
永井　礼子（北海道大学病院 小児科）

SY5-1　早産・低出生体重児の肺高血圧症

○豊島　勝昭
神奈川県立こども医療センター 新生児科

SY5-2　Developmental lung disease

○髙月　晋一
東邦大学医療センター大森病院 小児科

SY5-3　肺静脈系に起因する小児期の肺高血圧

○澤田　博文
三重大学医学部附属病院 小児科

SY5-4　本邦の先天性横隔膜ヘルニアに対する経口肺血管拡張薬使用の現状

○石井　良[1]、石田　秀和[1]、豊島　勝昭[2]、永田　公二[3]、照井　慶太[4]、奥山　宏臣[5]、
臼井　規郎[6]、稲村　昇[7]
[1]大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学、[2]神奈川県立こども医療センター 新生児科、
[3]九州大学医学部附属病院 小児外科、[4]自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児外科、
[5]大阪大学医学部附属病院 小児外科、[6]大阪母子医療センター 小児外科、[7]近畿大学医学部附属病院 小児科

16:40〜17:20 症例検討 3　Case Discussion 3

Epoprostenol 導入や移植登録の時期

座長：小垣　滋豊（大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科）
中山　智孝（高知赤十字病院 第一小児科）

CD3-1　当科におけるエポプロステノール導入症例と移植検討症例

○岩朝　徹、大内　秀雄、黒嵜　健一
国立循環器病研究センター 小児循環器内科

CD3-2　小児期発症 IPAH における肺移植待機登録のタイミング

○石田　秀和[1]、成田　淳[1]、石井　良[1]、廣瀬　将樹[1]、加門　千寿[2]、狩野　孝[3]、新谷　康[3]、
北畠　康司[1]
[1]大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、[2]大阪大学医学部附属病院移植医療部、
[3]大阪大学大学院医学系研究科呼吸器外科学

17:30〜18:10 一般演題 16　Oral Session 16

小児肺高血圧症 1

座長：満下　紀恵（静岡県立こども病院 循環器センター循環器科）
岩朝　徹（国立循環器病研究センター 小児循環器内科）

OR16-1　NO 負荷心エコー検査をもとに投薬内容を決定した iPAH の 3 歳男児例

○本間　友佳子、早渕　康信
徳島大学病院 小児科

OR16-2 小児の IPAH/HPAH に対する rapid sequential combination therapy

○佐藤　光央、川村　悠太、清水　由律香、川合　玲子、髙月　晋一
東邦大学医療センター大森病院 小児科

OR16-3 静注 PGI2 の調節に難渋した乳児重症特発性肺高血圧症の一例

○簗野　一馬、星野　健司、中村　佑輔、大森　紹玄、増田　詩央、百木　恒太、
真船　亮、河内　貞貴
埼玉県立小児医療センター 循環器科

OR16-4 肺低形成に伴う肺高血圧症に肺血管拡張薬が奏功した一例

○栗山　祥子、長岡　鉄太郎、寺山　有理子、永田　祐一、鈴木　宣史、吉田　隆司、
高橋　和久
順天堂大学大学院 医学研究科 呼吸器内科学

18:10〜19:00 一般演題 17　Oral Session 17

小児肺高血圧症 2

座長：福島　裕之（東京歯科大学市川総合病院 小児科）
若宮　卓也（神奈川県立こども医療センター 循環器内科）

OR17-1 小児血液・腫瘍疾患の治療後に合併する肺高血圧症

○永井　礼子、寺下　友佳代、板橋　立紀、鈴木　祐人、佐々木　大輔、平林　真介、
山澤　弘州、武田　充人、長　祐子、真部　淳
北海道大学病院 小児科

OR17-2 先天性横隔膜ヘルニアに伴う肺高血圧の乳幼児期肺血行動態の評価

○乙部　裕、澤田　博文、三谷　義英、大橋　啓之、大矢　和伸、淀谷　典子、
原田　智哉、武岡　真美、平山　雅浩
三重大学大学院医学系研究科 小児科学

OR17-3 シロリムスを投与した肺高血圧を伴う難治性肺静脈狭窄症の剖検例

○蘆田　温子[1,2]、岸　勘太[1]、町原　功実[1]、水岡　敦喜[1]、小田中　豊[1]、尾崎　智康[1]、
鈴木　昌代[2]、小西　隼人[2]、根本　慎太郎[2]、芦田　明[1]
[1]大阪医科薬科大学病院 小児科、[2]大阪医科薬科大学病院 小児心臓血管外科

OR17-4 肺動脈性肺高血圧症の治療中に肺静脈狭窄が判明した一例

○浦田　翔一、伊波　巧、石橋　洋平、竹内　かおり、菊池　華子、合田　あゆみ、
河野　隆志、副島　京子
杏林大学医学部付属病院 循環器内科

OR17-5 先天性僧帽弁狭窄で僧帽弁置換後も肺高血圧が残存する 6 歳女児

○安心院　千裕、石垣　瑞彦、満下　紀恵、森　秀洋、眞田　和哉、佐藤　慶介、
芳本　潤、金　成海、新居　正基、田中　靖彦
静岡県立こども病院 循環器科

6月15日(日)　第1会場

9:00〜9:30　教育講演7　Educational Lecture 7

座長：西村　正治(北海道大学名誉教授/豊水総合メディカルクリニック 内科・呼吸器内科)

EL7　肺病変を有する肺高血圧症診療ガイドラインを紐解く

○長岡　鉄太郎
順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学

9:35〜10:05　教育講演8　Educational Lecture 8

座長：長岡　鉄太郎(順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学)

EL8　肺高血圧症の病理所見について

○植田　初江[1]、雨宮　妃[2]、大郷　恵子[2]
[1]北摂総合病院 病理診断科、[2]国立循環器病研究センター 病理部

10:10〜10:40　教育講演9　Educational Lecture 9

座長：鈴木　拓児(千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学)

EL9　オスラー病と肺高血圧症

○杉浦　寿彦
千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学

10:45〜11:25　理事長講演　JPCPHS Presidential Lecture

座長：下川　宏明(国際医療福祉大学)

JPL　今後の肺高血圧症診療と日本肺高血圧・肺循環学会について

○福本　義弘
久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門

11:30〜12:20　特別講演2　Special Lecture 2

座長：中西　宣文(医療法人社団 新生会 大阪なんばクリニック 循環器内科)

SL2　肺高血圧症治療の展望

○松原　広己
独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科

12:30〜13:20 ランチョンセミナー 6　Luncheon Seminar 6

PAH をどう治療するか〜心肺併存疾患の有無に応じた治療選択〜

座長：坂尾　誠一郎（国際医療福祉大学医学部 呼吸器内科学教室）

LS6-1　心肺併存疾患のない PAH：初期経口 3 剤併用療法の位置づけを含めて

○伊波　巧
杏林大学医学部 循環器内科学

LS6-2　心肺併存疾患を有する PAH：セレキシパグを用いた治療戦略

○谷口　悠
神戸大学医学部附属病院 循環器内科

共催：日本新薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

13:30〜15:00 会長特別企画シンポジウム 2　Presidential Special Symposium 2

レジストリーアンメットニーズ

座長：福本　義弘（久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門）
　　渡邉　裕司（浜松医科大学）

PSY2-1　JAPHR ー PAH レジストリー

○田村　雄一[1,2,3]、Investigators All[3]
[1]国際医療福祉大学医学部 循環器内科学、[2]国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター、
[3]Japan PH Registry

PSY2-2　日本における左心疾患に伴う肺高血圧症の診療の現状と課題

○杉村　宏一郎[1]、佐藤　大樹[2]
[1]国際医療福祉大学成田病院 循環器内科、[2]東北大学循環器内科学

PSY2-3　JAPHR3 群レジストリーと連携した呼吸器疾患の胸部 CT の定量評価

○内藤　亮[1]、田邉　信宏[1,2]
[1]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学、[2]千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター

PSY2-4　All Japan CTEPH AC Registry の進捗

○阿部　弘太郎[1,2]、細川　和也[1,3]
[1]九州大学大学院医学研究院 循環器内科学、[2]九州大学大学院医学研究院循環器内科学、
[3]九州大学先端医療オープンイノベーションセンター

PSY2-5　J-BPA レジストリー研究の現状と展望 2025

○大郷　剛
国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

PSY2-6　先天性心疾患を伴う肺高血圧症レジストリ JACPHR 登録研究

○土井　庄三郎[1]、石井　卓[2]、内田　敬子[3]、住友　直文[4]、細川　奨[5]、石田　秀和[6]、
福島　裕之[7]、高月　晋一[8]、小垣　滋豊[9]、山岸　敬幸[10]
[1]東京科学大学医学部 小児科、[2]東京科学大学大学院医歯学総合研究科 茨城県小児・周産期地域医療学、
[3]東京医科大学 細胞生理学、[4]慶應義塾大学 小児科、[5]武蔵野赤十字病院 小児科、
[6]大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、[7]東京歯科大学市川総合病院 小児科、
[8]東邦大学医療センター大森病院 小児科、[9]大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科、
[10]東京都立小児総合医療センター 小児科

共催：厚生労働省難治性疾患等政策研究事業「難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究」班

15:10〜15:50　コーヒーブレイクセミナー 2　Coffee Break Seminar 2

座長：巽　浩一郎（千葉大学名誉教授（医学研究院呼吸器内科学））

CS2　膠原病に伴う間質性肺疾患（CTD-ILD）治療の Up to date

○岡元　昌樹
国立病院機構九州医療センター 呼吸器内科

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

16:15〜16:45　教育講演 13　Educational Lecture 13

座長：桑名　正隆（日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野）

EL13　全身性強皮症の PH ーいつから治療するのか？

○川口　鎮司
東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマチ内科学分野

16:55〜17:25　教育講演 14　Educational Lecture 14

座長：佐藤　徹（きらり・ヘルスケアクリニック）

EL14　2025 年新しい VTE および PH に関するガイドラインについて

○田村　雄一[1,2]
[1]国際医療福祉大学医学部 循環器内科学、[2]国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター

6 月 15 日（日）　第 2 会場

9:00〜10:30　スポンサードセミナー 3　Sponsored Seminar 3

患者さんの予後改善を目指すための PAH 治療とは〜医療者・患者の視点から〜

座長：田邉　信宏（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター/千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学）

SS3-1　基調講演：グローバルの潮流とガイドライン改訂のポイント

○田村　雄一[1,2]
[1]国際医療福祉大学医学部 循環器内科学、[2]国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター

SS3-2　肺血行動態正常化がもたらす患者さんのメリット

○松原　広己
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター

SS3-3　PH が日常に与える影響と医療者への期待

○村上　紀子
PAHの会

共催：ヤンセンファーマ株式会社　メディカルアフェアーズ本部

10:45〜12:15　シンポジウム 9　Symposium 9

肺疾患合併肺高血圧症における病理学的所見と病態

座長：須田　隆文(浜松医科大学 内科学第二講座)
阿部　弘太郎(九州大学大学院医学研究院 循環器内科学)

SY9-1　肺疾患における血管病変の組織所見に関する Overview

○武村　民子
神奈川県立循環器呼吸器病センター 病理診断科

SY9-2　IPF における肺血管病変

○西山　理
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科

SY9-3　間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の剖検例における肺血管病変の特徴

○杉本　絢子[1,2]、辻野　一三[1,2]
[1]北海道大学病院 呼吸器内科、[2]北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室

SY9-4　CPFE-PH の肺血管病理および 3 群 PH の肺血管拡張反応性

○大郷　剛
国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

12:30〜13:20　ランチョンセミナー 7　Luncheon Seminar 7

座長：杉村　宏一郎(国際医療福祉大学 医学部/国際医療福祉大学成田病院 循環器内科)

LS7　CTEPH 治療の現在と今後の展望

○下川原　裕人
国立病院機構岡山医療センター 循環器内科/肺高血圧症センター

共催：MSD 株式会社

13:30〜15:00　シンポジウム 10　Symposium 10

CTD-PH の治療

座長：川口　鎮司(東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマチ内科学分野)
土橋　浩章(香川大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科)

SY10-1　CTD-PAH に対する免疫抑制治療

○蜷川　慶太[1]、加藤　将[2,3]、渥美　達也[2]
[1]斗南病院 リウマチ・膠原病科、[2]北海道大学 大学院医学研究院 内科学分野 免疫・代謝内科学教室、
[3]富山大学学術研究部医学系内科学第一講座

SY10-2　間質性肺疾患を合併する PH の診断と治療

○田中　健介
JR東京総合病院 呼吸器内科

SY10-3　ESC/ERS 2022 新規診断基準からの治療介入は必要か？

○白井　悠一郎、桑名　正隆
日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野

SY10-4　高安動脈炎に伴う肺高血圧症の治療

○上田　仁[1]、藤崎　真也[1]、髙野　凌[1]、林　浩也[1]、喜古　崇豊[1]、浅野　遼太郎[2]、
辻　明宏[1]、中岡　良和[2]、大郷　剛[1]
[1]国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科、[2]国立循環器病研究センター 研究所 血管生理学部

16:00〜17:30　シンポジウム 12　Symposium 12

CTEPH 治療―ガイドラインからその先へ―

座長：石田　敬一（国際医療福祉大学医学部 心臓血管外科）
新家　俊郎（昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門）

SY12-1　CTEPH 診療ガイドライン Up-to-date

○伊波　巧、竹内　かおり、菊池　華子、合田　あゆみ、河野　隆志、副島　京子
杏林大学医学部 循環器内科学教室

SY12-2　CTEPH 治療、ガイドラインからその先へ、PEA その先へ

○島原　佑介、山下　淳
東京医科大学病院 心臓血管外科

SY12-3　BPA その先へ

○池田　長生
東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

SY12-4　Hybrid therapy　その先へ

○谷口　悠
神戸大学大学院医学研究科 内科学講座・循環器内科学分野

SY12-5　CTEPH の薬物治療（肺血管拡張薬/抗凝固薬）その先へ

○細川　和也
九州大学 先端医療オープンイノベーションセンター・循環器内科

6 月 15 日(日)　第 3 会場

9:00〜10:15　シンポジウム 7　Symposium 7

acute on chronic PE への対応

座長：池田　長生（東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科）
孟　真（横浜南共済病院 心臓血管外科/並木クリニック）

SY7-1　Acute on chronic PE の診断と治療戦略―内科医の立場から

○荻原　義人、佐藤　徹、小林　壮一朗、土肥　薫
三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学

SY7-2　待てない CTEPH に対する Rescue BPA

○足立　史郎
名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科

SY7-3　acute on chronic PE への対応―外科医の立場から

○島原　佑介、山下　淳
東京医科大学病院 心臓血管外科

SY7-4　カテーテル治療への期待

○田邉　康宏
聖マリアンナ医科大学 循環器内科

10:20～11:35　シンポジウム 8　Symposium 8

肺高血圧症患者のリハビリテーション―適切な活動のマネジメント―

座長：飛田　和基（埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科）
窪田　佳代子（鹿児島大学病院 心臓血管内科）

SY8-1　軽症肺高血圧症（血行動態安定例）に対するリハビリテーション

○中尾　周平[1]、宮永　直[2]、光吉　こころ[2]、赤尾　光優[2]、窪田　佳代子[2]、大石　充[2]
[1]鹿児島大学病院 リハビリテーション部、[2]鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学

SY8-2　重症肺高血圧症（血行動態不安定例）に対するリハビリテーション

○安藤　可織[1]、小幡　賢吾[1]、福家　聡一郎[2]
[1]岡山赤十字病院 リハビリテーション科、[2]岡山赤十字病院 循環器内科

SY8-3　心・呼吸器疾患を合併する PH 患者に対するリハビリテーション

○天尾　理恵
東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部

SY8-4　運動誘発性 PH に対するリハビリテーション

○合田　あゆみ
杏林大学医学部付属病院 循環器内科

11:40～12:20　リウマチセミナー　Rheumatology Seminar

座長：川口　鎮司（東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマチ内科学分野）

RS　CTD-PH の病態メカニズム解析の現状

○安岡　秀剛
藤田医科大学医学部 リウマチ・膠原病内科

12:30～13:20　ランチョンセミナー 8　Luncheon Seminar 8

難治性自己免疫疾患における最新の治療戦略

座長：土橋　浩章（香川大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科）

LS8-1　高安動脈炎の治療における疾患活動性モニタリングと腸内細菌叢変容検出の意義

○中岡　良和
国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部/病院心臓血管内科

LS8-2　全身性強皮症に合併する間質性肺疾患の治療

○川口　鎮司
東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマチ内科学分野

共催：中外製薬株式会社

13:30〜14:00 教育講演 12　Educational Lecture 12

座長：江本　憲昭（神戸薬科大学 臨床薬学研究室）

EL12　腸内細菌叢変容と芳香族炭化水素受容体の制御による PH の新規治療法

○中岡　良和
国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部/病院心臓血管内科

14:10〜14:50 コーヒーブレイクセミナー 1　Coffee Break Seminar 1

BPA strategy と合併症の注意点

座長：下川原　裕人（国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科）
コメンテーター：池田　長生（東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科）
深井　邦剛（近江八幡市立総合医療センター 循環器内科）
山下　淳（東京医科大学病院 循環器内科）

CS1-1　分岐部病変に対する BPA

○安西　淳
慶應義塾大学病院 循環器内科

CS1-2　慢性完全閉塞病変に対する BPA

○皆月　隼
東京大学医学部附属病院 循環器内科

共催：株式会社カネカメディックス

15:10〜15:50 コーヒーブレイクセミナー 3　Coffee Break Seminar 3

NO 吸入療法

座長：桑原　宏一郎（信州大学医学部 循環器内科）

CS3-1　BPA の有効性と安全性を高めて CTEPH 診療を 1 歩進めるお話

○池田　長生
東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

CS3-2　肺高血圧症診療における一酸化窒素（NO）吸入療法

○大郷　剛
国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

共催：マリンクロットファーマ株式会社

16:00〜17:30　パネルディスカッション　Panel Discussion

小児期から成人期への移行における課題

座長：大郷　剛（国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科）
高月　晋一（東邦大学医療センター大森病院 小児科）

PS-1　小児期から成人期への移行における課題―小児科医の立場から―

○土井　庄三郎[1]、石井　卓[2]、内田　敬子[3]、住友　直文[4]、細川　奨[5]、石田　秀和[6]、福島　裕之[7]、高月　晋一[8]、小垣　滋[9]、山岸　敬幸[10]

[1]東京科学大学医学部 小児科、[2]東京科学大学大学院医歯学総合研究科 茨城県小児・周産期地域医療学、[3]東京医科大学 細胞生理学、[4]慶應義塾大学 小児科、[5]武蔵野赤十字病院 小児科、[6]大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、[7]東京歯科大学市川総合病院 小児科、[8]東邦大学医療センター大森病院 小児科、[9]大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科、[10]東京都立小児総合医療センター 小児科

PS-2　内科医の立場から肺高血圧患者の移行医療を考える

○相馬　桂
東京大学医学部附属病院 循環器内科

PS-3　肺高血圧症患者の移行医療の現状と課題―患者会の視点と役割―

○福島　裕之[1,2]
[1]東京歯科大学市川総合病院 小児科、[2]慶應義塾大学医学部小児科

PS-4　小児期から成人期への移行における課題　CLS の立場から

○原田　香奈
東邦大学医療センター大森病院 看護部

6月15日(日)　第4会場

9:00〜10:00　YIA セッション（臨床）　Young Investigator's Award（Clinical）

審査員兼座長：辻野　一三（北海道大学大学院医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野）
小垣　滋豊（大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科）
川口　鎮司（東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマチ内科学分野）

YIA1-1　肺高血圧症の定義変更に対応する心エコー指標の探索

○福田　能丈、赤木　達、江尻　健太郎、髙谷　陽一、湯浅　慎介
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学

YIA1-2　運動負荷検査による結合組織病患者の肺循環評価と予後因子の解明

○瀬戸山　航史[1]、中原　美友紀[1]、日下　勝秀[2]、川口　貴子[3]、尾上　武志[1]、永田　泰史[1]、林田　佳子[4]、青木　隆敏[4]、矢寺　和博[3]、片岡　雅晴[1]

[1]産業医科大学第2内科学、[2]産業医科大学第1内科学、[3]産業医科大学呼吸器内科学、[4]産業医科大学放射線科学

YIA1-3　膠原病性肺高血圧症におけるインターフェロンの病的意義の検討

○小中　八郎[1,2]、熊ノ郷　淳[1]
[1]大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科、[2]日本生命済生会 日本生命病院 呼吸器・免疫内科

YIA1-4　慢性血栓塞栓性肺高血圧症における治療後残存肺高血圧の予測因子

○黒沼　圭一郎、兼澤　弥咲、小橋　宗一郎、横濱　ふみ、木村　朋生、重歳　正尚、
田渕　勲、下川原　裕人、渡邊　敦之、松原　広己
独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科

10:05〜11:05　YIA セッション（基礎）　Young Investigator's Award（Basic）

審査員兼座長：江本　憲昭（神戸薬科大学 臨床薬学研究室）
中岡　良和（国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部/病院心臓血管内科）
坂尾　誠一郎（国際医療福祉大学医学部 呼吸器内科学教室）

YIA2-1　低酸素誘発性肺血管リモデリングにおける CD26/DPP4 の機能的役割

○鈴木　友里[1]、川﨑　剛[1]、巽　浩一郎[1]、岡谷　匡[1]、佐藤　峻[1]、島田　絢子[1]、
森本　幾夫[2]、粕谷　善俊[13]、小原　收[4]、鈴木　拓児[1]
[1]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学、[2]順天堂大学大学院医学研究科 免疫病・がん先端治療学、
[3]順天堂大学薬学部 薬理学、[4]かずさDNA研究所 ゲノム事業推進部

YIA2-2　肺動脈性肺高血圧症の自然発症モデルマウスの病態解析

○石井　聡[1]、藤原　隆行[1]、加藤　愛巳[1]、武田　憲文[1]、野村　征太郎[1]、皆月　隼[1]、
波多野　将[1]、小室　一成[2]、武田　憲彦[1]
[1]東京大学医学部附属病院 循環器内科、[2]国際医療福祉大学

YIA2-3　肺動脈性肺高血圧症の PGI_2 製剤治療反応性における CTRP7 の役割

○山田　魁人、佐藤　大樹、矢尾板　信裕、千葉　直貴、山田　祐資、小丸　航平、
佐藤　遥、山本　沙織、後岡　広太郎、安田　聡
東北大学 循環器内科

YIA2-4　肺高血圧発症機序における *BMPR2* 遺伝子変異と周産期侵襲の関連

○武岡　真美、澤田　博文、三谷　義英、乙部　裕、坪谷　尚季、大矢　和伸、
淀谷　典子、大橋　啓之、原田　智哉、平山　雅浩
三重大学医学部附属病院小児科

11:15〜11:45　教育講演 10　Educational Lecture 10

座長：中西　敏雄（若松河田クリニック 内科・泌尿器科）

EL10　Unusual form pulmonary arterial hypertension

○高月　晋一
東邦大学医療センター大森病院 小児科

11:50〜12:20　教育講演 11　Educational Lecture 11

座長：木村　弘（公益財団法人結核予防会 複十字病院呼吸不全管理センター/SAS 治療センター）

EL11　肺高血圧症患者における効果的な患者指導の実践

○田村　祐大[1,2]
[1]金沢循環器病院、[2]国際医療福祉大学三田病院

12:30〜13:20 ランチョンセミナー 9　Luncheon Seminar 9

座長：片岡　雅晴（産業医科大学医学部 第 2 内科学）

LS9　PAH 診療の Next Stage―吸入薬がもたらす新たな治療戦略―

○平出　貴裕
慶應義塾大学医学部 循環器内科

共催：持田製薬株式会社

13:30〜14:00 Year in Review 1　臨床　Year in Review 1（Clinical）

座長：花岡　正幸（信州大学学術研究院医学系医学部 内科学第一教室）

YR1　Year in Review 2025（Clinical）

○足立　史郎
名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科

14:05〜14:35 Year in Review 2　基礎　Year in Review 2（Basic）

座長：小垣　滋豊（大阪急性期・総合医療センター 小児科・新生児科）

YR2　Year in Review 2025（Basic）

○中西　直彦
京都府立医科大学 大学院医学研究科 循環器・腎臓内科学

14:40〜15:20 一般演題 18　Oral Session 18

肺動脈性肺高血圧症 2

座長：高間　典明（群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 循環器内科学）
　　吉藤　元（京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学）

OR18-1　肺動脈性肺高血圧症における最大呼気流速と予後に関する検討

○光吉　こころ[1]、赤尾　光優[1]、中尾　周平[2]、宮永　直[1]、窪田　佳代子[1]、大石　充[1]
[1]鹿児島大学病院 心臓血管内科、[2]鹿児島大学病院 医療技術部 リハビリテーション部門

OR18-2　高リスク PAH にトレプロスチニル吸入への切り替えに成功した症例

○郡山　遥平、吉田　賢明、糸長　潤平、細川　和也、阿部　弘太郎
九州大学病院 循環器内科

OR18-3　エポプロステノールを離脱した SLE による肺高血圧症の一例

○吉川　修平[1]、佐藤　隆博[1]、小森　卓[1]、島　秀起[1]、中村　順一[1]、辻野　一三[1]、
馬詰　武[2]、安田　充孝[3]、今野　哲[1]
[1]北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室、[2]北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学教室、
[3]北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室

OR18-4　肺病変合併肺動脈性肺高血圧症の臨床的特徴および予後

○小森　卓、辻野　一三、吉川　修平、島　秀起、中村　順一、杉本　絢子、
佐藤　隆博、今野　哲
北海道大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学教室

15:20〜16:10 一般演題 19　Oral Session 19

肺動脈性肺高血圧症 3

座長：小田切　圭一（浜松医科大学医学部附属病院 臨床研究センター）
妹尾　絢子（奈良県立医科大学 循環器内科）

OR19-1　多施設における青黛誘発性肺高血圧症の長期予後に関する検討

○磯部　更紗[1]、土肥　由裕[2]、平出　貴裕[3]、足立　史郎[4]、小村　直弘[5]、辻野　一三[6]、世良　英子[7]、波多野　将[8]、巽　浩一郎[9]、田村　雄一[1]

[1]国際医療福祉大学三田病院 循環器内科、[2]呉共済病院 循環器内科、[3]慶應義塾大学病院 循環器内科、[4]名古屋大学医学部附属病院 循環器内科、[5]横浜市立大学附属病院 循環器内科、[6]北海道大学病院 呼吸器内科、[7]大阪大学 循環器内科、[8]東京大学医学部附属病院 循環器内科、[9]千葉大学医学部 呼吸器内科

OR19-2　肺動脈性肺高血圧症における EP4 刺激薬の効果と役割の検討

○木室　圭司[1]、吉田　賢明[1]、今林　都咲[1]、和泉　遼[1]、眞崎　耕平[2]、細川　和也[1]、阿部　弘太郎[1]

[1]九州大学大学院医学研究院、[2]独立行政法人国立病院機構 九州医療センター

OR19-3　医師の診療頻度による肺動脈性肺高血圧症の治療実態の把握

○新井　洋子[1]、五十嵐　正和[1]、章　ぶん[2]、鴇田　滋[1]

[1]MSD K.K., Tokyo, Japan、[2]IQVIAソリューションズ ジャパン合同会社

OR19-4　PAH with comorbidities 患者の長期予後の検討

○兼澤　弥咲、下川原　裕人、本田　章、小橋　宗一郎、黒沼　圭一郎、松原　広己

独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター 循環器内科

OR19-5　ECMO bridge により緊急生体肺移植を施行した iPAH の 1 例

○梁　泰基[1,2]、田中　里奈[2]、松原　太一[2]、廣瀬　未来[3]、坂之上　一朗[2]、栢分　秀直[2]、木下　秀之[4]、中島　大輔[2]、伊達　洋至[2]、芳川　豊史[1]

[1]名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科、[2]京都大学医学部附属病院 呼吸器外科、[3]名古屋大学医学部附属病院 循環器内科、[4]京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座

16:15〜17:30 若手企画シンポジウム　Young Investigator Symposium

キックオフ PH48！ Multidisciplinary team meeting for young members —PH 診療検査　基本のき！—

座長：足立　史郎（名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科）
佐藤　大樹（東北大学大学院 循環器内科学）

YSY-1　キックオフ PH48!

○足立　史郎

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科

YSY-2　右心カテのコツ PAWP 測定から圧読みまで

○藤崎　真也、浅野　遼太郎、髙野　凌、林　浩也、大郷　剛

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 肺循環科

YSY-3　呼吸器疾患と肺高血圧の深い関係

○栗山　祥子、寺山　有理子、永田　祐一、鈴木　宣史、吉田　隆司、長岡　鉄太郎、
高橋　和久
順天堂大学 大学院医学研究科 呼吸器内科学

YSY-4　肺高血圧診断時に必要な膠原病スクリーニング

○松枝　佑
北里大学病院 リウマチ・膠原病内科

YSY-5　肺高血圧症診療における遺伝カウンセリングの実際

○三須　久美子
慶應義塾大学医学部 臨床遺伝学センター

YSY-6　Closing Remarks

○福本　義弘
久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門

6月15日(日)　第5会場

9:00～9:40　**一般演題 20　Oral Session 20**

基礎研究 1

座長：江本　憲昭(神戸薬科大学 臨床薬学研究室)
鈴木　拓児(千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学)

OR20-1　肺高血圧症の病態形成における RNA 安定化分子 ARID5A の役割

○丁　欣、稲垣　薫克、岡澤　慎、中岡　良和
国立循環器病研究センター

OR20-2　肺高血圧症の病態形成における Interleukin-21 シグナルの役割

○稲垣　薫克、浅野　遼太郎、岡澤　慎、丁　欣、中岡　良和
国立循環器病研究センター 血管生理学部

OR20-3　ヘッジホッグシグナル阻害は肺動脈性肺高血圧症の進行を抑制する

○櫻井　牧人[1]、細川　奨[1,3]、山口　洋平[1]、井原　健介[2]、石井　卓[1]
[1]東京科学大学 発生発達病態学分野、[2]東京科学大学 循環制御内科学分野、[3]武蔵野赤十字病院 小児科

OR20-4　肺高血圧症ラットを用いた AHR と IL-6 シグナルクロストークの検討

○岡澤　慎、稲垣　薫克、浅野　遼太郎、正木　豪、山岸　亜紀子、石橋　知彦、
水島　沙織、平良　優子、東　香織、中岡　良和
国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部

9:40〜10:20　一般演題 21　Oral Session 21

呼吸器 2

座長：小倉　高志（神奈川県立循環器呼吸器病センター）
木村　智樹（公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科）

OR21-1　肺高血圧症を伴う気腫合併肺線維症患者の臨床的特徴と予後

○高橋　潤[1]、髙野　凌[2]、辻　明宏[2]、上田　仁[2]、喜古　崇豊[2]、大郷　剛[2]
[1]秋田大学大学院 医学系研究科 循環器内科学講座、[2]国立循環器病研究センター肺循環科

OR21-2　当院における ILD-PH に対する吸入トレプロスチニルの使用経験

○寺山　有理子、長岡　鉄太郎、永田　祐一、鈴木　宜史、吉田　隆司、堤　建男、
栗山　祥子、高橋　和久
順天堂大学 呼吸器内科

OR21-3　間質性肺炎に伴う III 群 PH に対する当院のトレプロストの使用経験

○大利　亮太、丹羽　崇、大熊　尭、酒寄　雅史、馬場　智尚、小倉　髙志
神奈川県立循環器呼吸器病センター

OR21-4　間質性肺疾患に伴う PH に対する Treprostinil 吸入　肺機能一年の変化

○木村　智樹[1]、富貴原　淳[1]、寺町　涼[1,2]、萩本　聡[1]、武井　玲生仁[1]、笹野　元[1]、
山野　泰彦[1]、片岡　健介[1]、近藤　康博[1]
[1]公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科、[2]公立陶生病院 救急部集中治療室

10:20〜11:00　一般演題 22　Oral Session 22

膠原病性肺高血圧症 2

座長：深谷　修作（藤田医科大学医学部 リウマチ・膠原病内科）
田村　祐大（金沢循環器病院/国際医療福祉大学三田病院）

OR22-1　安定した SLE に発症した PAH に対する Anifrolumab の効果

○土肥　由裕、友弘　康之、平位　有恒、眞田　竜平、栗本　元輝
呉共済病院

OR22-2　結合組織病に伴う肺動脈性肺高血圧症に対する免疫抑制薬の効果

○田村　祐大[1,2]、田村　雄一[2]、桑名　正隆[3]、from JAPHR registry All investigators[4]
[1]金沢循環器病院 循環器内科、[2]国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧センター、
[3]日本医科大学付属病院 リウマチ膠原病内科、[4]JAPHR registry

OR22-3　免役抑制療法が著効した無筋症性皮膚筋炎合併肺高血圧症の 2 例

○梅田　美結、平川　今日子、山本　英一郎、辻田　賢一
熊本大学病院 循環器内科

OR22-4　肺高血圧症合併全身性強皮症に対する免疫抑制療法の有効性の検討

○日下　勝秀[1]、久保　智史[1,2]、中山田　真吾[1]、宮川　一平[1]、轟　泰幸[1,2]、上野　匡庸[1]、
野原　大嗣[1]、瀬戸山　航史[3]、片岡　雅晴[3]、田中　良哉[1]
[1]産業医科大学医学部 第1内科学講座、[2]産業医科大学医学部 分子標的治療内科学、
[3]産業医科大学医学部 第2内科学講座

11:15〜12:15 一般演題 23　Oral Session 23

基礎研究 2

座長：澤田　博文（三重大学医学部附属病院 小児科）
泉家　康宏（熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学）

OR23-1 Implication of NEK2 in pulmonary arterial hypertension

○山本　慶子[1]、Marie-Josée Beaulieu[2]、Mélanie Sauvaget[3]、Alice Bourgeois[3]、Sandra Martineau[3]、Sandra Breuils Bonnet[3]、François Potus[3,4]、Steeve Provencher[3,4]、Olivier Boucherat[3,4]、Sébastien Bonnet[3,4]
[1]千葉大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学、
[2]Institut Universitaire de Cardiologie et de Pneumologie de Québec, Université Laval、
[3]Pulmonary Hypertension Research Group, Centre de Recherche de l'Institut Universitaire de Cardiologie et de Pneumologie de Québec、[4]Department of Medicine, Université Laval

OR23-2 肺高血圧症ラットに誘導される基質末同定キナーゼの役割

○岡澤　慎[1]、山岸　亜紀子[1]、正木　豪[1]、石橋　知彦[1]、稲垣　薫克[1]、浅野　遼太郎[1]、水島　沙織[1]、平良　優子[1]、東　香織[1]、中岡　良和[1,2]
[1]国立循環器病研究センター 血管生理学部、[2]国立循環器病研究センター 心臓血管内科

OR23-3 炎症細胞活性因子 CD69 のマクロファージを介した肺高血圧制御機構

○永田　祐一、長岡　鉄太郎、寺山　有理子、鈴木　宣史、吉田　隆司、堤　建男、栗山　祥子、髙橋　和久
順天堂大学医学部呼吸器内科学講座

OR23-4 肺ペリサイトと肺高血圧症の関与

○加藤　勝洋[1]、松井　綾香[1]、佐藤　好隆[2]、貝淵　弘三[3]、室原　豊明[1]
[1]名古屋大学 循環器内科、[2]名古屋大学 ウイルス学、[3]藤田医科大学 精神・神経病態解明センター

OR23-5 高肺血流による肺動脈性肺高血圧モデルマウスの新たな作成法

○篠原　務[1]、Jan-Renier Moonen[2]、Marlene Rabinovitch[2]
[1]名古屋市立大学大学院 新生児小児医学、[2]Stanford University

OR23-6 Empagliflozin の肺血管リモデリング、右心機能に対する影響

○吉田　賢明[1,2]、Eszter Toth[2]、Erik Duijvelaar[2]、Xiao-Qing Sun[2]、Beau Neep[2]、眞田　喬行[3]、吉田　優[2]、Frances de Man[2]、阿部　弘太郎[1]、Harm Jan Bogaard[2]
[1]九州大学病院、[2]Amsterdam UMC、[3]国際医療福祉大学成田病院

13:30〜14:45 シンポジウム 11　Symposium 11

薬物療法マスター（持続静注・皮下注療法の実際）

座長：波多野　将（東京大学医学部附属病院 循環器内科/高度心不全治療センター）
須田　理香（千葉県済生会習志野病院 肺高血圧症センター/千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科）

SY11-1 当院の持続静注・皮下注療法実践マニュアル〜導入から離脱まで〜

○伊波　巧、竹内　かおり、菊池　華子、合田　あゆみ、河野　隆志、副島　京子
杏林大学医学部 循環器内科学教室

SY11-2 持続静注・皮下注療法の患者教育とチーム連携

○中村　旭
東京大学医学部附属病院 薬剤部

SY11-3　肺高血圧症治療薬在宅療養のトラブルの実際

○本郷　勇気
セコム医療システム株式会社 薬剤サービス部

14:50〜15:30　一般演題 24　Oral Session 24

検査診断 2

座長：坂巻　文雄（東海大学医学部付属八王子病院 呼吸器内科）
中村　順一（北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室）

OR24-1　IPAH 患者における MAA SPECT/CT による定量的肺灌流評価の有用性

○高橋　一徳[1,2]、黒沼　圭一郎[2]、下川原　裕人[2]、松原　広己[2]
[1]NHO岡山医療センター 放射線科、[2]NHO岡山医療センター 循環器内科、肺高血圧症センター

OR24-2　第 4 群肺高血圧症の BPA 前後における合成心電図 V3R,V4R,V5R の検討

○原田　亜実[1]、佐藤　隆博[2,3]、三谷　麻子[1]、岩井　孝仁[1]、井上　真美子[1]、中村　順一[2]、
今野　哲[2,3]、辻野　一三[2,3]、山下　直樹[1]、豊嶋　崇徳[1]
[1]北海道大学病院 検査・輸血部、[2]北海道大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学教室、
[3]北海道大学大学院 医学研究院 呼吸・循環イノベーティブリサーチ分野

OR24-3　慢性血栓塞栓性肺高血圧症における DDR の有用性について

○五天　千明、岡田　寛史、坂田　憲治、薄井　荘一郎、高村　雅之
金沢大学附属病院 循環器内科

OR24-4　当院の BPA における ACIST 社製 FFR システム『RXi』の使用経験

○岩﨑　良太[1]、佐川　竜馬[1]、別所　郁夫[1]、池田　長生[2]、原　英彦[2]
[1]東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学部、[2]東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

15:30〜16:10　一般演題 25　Oral Session 25

5 群 PH 2

座長：辻　明宏（国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門肺循環科）
田中　健介（JR 東京総合病院 呼吸器内科）

OR25-1　NO 経路の関与が考えられた真性多血症に伴う肺高血圧症の 1 例

○小川　真太郎、鈴木　徹、阿部　茉莉愛、菅原　拓哉、小村　直弘、川浦　範之、
小西　正紹、岩橋　徳明、石上　友章、日比　潔
横浜市立大学 循環器内科

OR25-2　多発性骨髄腫の新規診断時に合併した肺高血圧症の一例

○天野　佑[1,2]、喜古　崇豊[1]、藤崎　真也[1]、髙野　凌[1]、赤尾　光優[1]、西　成寛[1]、
林　浩也[1]、上田　仁[1]、辻　明宏[1]、大郷　剛[1]
[1]国立循環器病センター 心臓血管内科部門 肺循環科、[2]天理よろづ相談所病院 循環器内科

OR25-3　原発性マクログロブリン血症を合併した SSc-ILD に伴う PH の 1 例

○木坊子　貴生、鈴鹿　隆保、庄田　武司、小谷　卓矢、武内　徹
大阪医科薬科大学病院 リウマチ膠原病内科

OR25-4　多発性骨髄腫による肺高血圧症に対し化学療法が有効であった一例

○廣瀬　未来[1]、中野　嘉久[3]、足立　史郎[2]、西山　軼群[1]、杉山　智美[1]、室原　豊明[1]
[1]名古屋大学大学院医系研究科 循環器内科学、[2]名古屋大学医学部附属病院 循環器内科、
[3]名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療臨床研究支援センター

16:15～17:30　シンポジウム 13　Symposium 13

PAH のスクリーニングはどの population にどの程度やる？実際のプラクティスについて

座長：村田　光繁（杏林大学医学部 循環器内科）
　　田中　住明（北里大学メディカルセンター リウマチ・膠原病内科）

SY13-1　スクリーニングを毎年実施した強皮症の肺高血圧症予測因子の検討

○白井　悠一郎[1]、石垣　星[2]、花岡　洋成[2,3]、金子　祐子[2]、桑名　正隆[1,2]
[1]日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野、
[2]慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科、[3]埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科

SY13-2　CTD-PAH 診断におけるスクリーニングと診断時負荷検査の活用

○菊池　華子、浦田　翔一、石橋　洋平、竹内　かおり、伊波　巧、合田　あゆみ、
河野　隆志、副島　京子
杏林大学病院 循環器内科

SY13-3　右室-肺動脈カップリングに着目した心エコー図 PH スクリーニング

○平出　貴裕
慶應義塾大学医学部 循環器内科

SY13-4　結合組織病における早期肺循環障害を予測する安静時指標の検討

○瀬戸山　航史[1]、中原　美友紀[1]、日下　勝秀[2]、川口　貴子[3]、尾上　武志[1]、永田　泰史[1]、
林田　佳子[4]、矢寺　和博[2]、片岡　雅晴[1]
[1]産業医科大学 第2内科学、[2]産業医科大学第1内科学、[3]産業医科大学呼吸器内科学、
[4]産業医科大学放射線科学

SY13-5　肝臓内科医にとっての PoPH のスクリーニングの到達点と問題点

○厚川　正則
日本医科大学 消化器・肝臓内科

6月15日(日)　第 6 会場

9:00～10:15　日本小児循環器学会とのジョイントシンポジウム　Joint Symposium with JSPCCS

改めて考える IPAH に対する経口・非経口標的治療薬の使い方

座長：片岡　雅晴（産業医科大学医学部 第 2 内科学）
　　石井　卓（東京科学大学 茨城県小児・周産期地域医療学講座）

JSY-1　小児期発症 IPAH/HPAH に対する治療−JAPHR と自験例から見える現状

○住友　直文[1]、細川　奨[2]、石井　卓[3]、林　立申[4]、永井　礼子[5]、石田　秀和[6]、
内田　敬子[7]、福島　裕之[8]、土井　庄三郎[3,9]、山岸　敬幸[1,10]
[1]慶應義塾大学医学部 小児科、[2]武蔵野赤十字病院 小児科、[3]東京科学大学 医学部 小児科、
[4]茨城県立こども病院 小児循環器科、[5]北海道大学 医学部 小児科、[6]大阪大学大学院医学系研究科 小児科、
[7]東京医科大学 細胞生理学、[8]東京歯科大学市川総合病院 小児科、[9]東京医療保健大学、
[10]東京都立小児総合医療センター

JSY-2　小児期発症肺動脈性肺高血圧への当科での取り組み

○馬場　健児、近藤　麻衣子、福嶋　遥佑、重光　祐輔、川本　祐也、原　真祐子
岡山大学病院 IVRセンター 小児循環器

JSY-3　改めて考える IPAH に対する PH 標的治療薬：内科医の立場から

○大郷　剛
国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科

JSY-4　内科医の立場から

○赤木　達
岡山大学学術研究院医歯薬学域 循環器内科学

共同企画：特定非営利活動法人日本小児循環器学会

10:20〜11:00　一般演題 26　Oral Session 26

慢性血栓塞栓性肺高血圧症 4

座長：清水　一寛（東邦大学医療センター佐倉病院 循環器内科）
　　山本　英一郎（熊本大学病院 循環器内科）

OR26-1　慢性血栓塞栓性肺高血圧症と原発性肺癌を同時に制御できた一例

○磯松　慧[1,2]、竹田　健一郎[1]、杉浦　寿彦[1,3]、今井　俊[1,3]、永田　淳[1,3]、谷口　悠[1,4]、
内藤　亮[1]、重田　文子[1]、田邉　信宏[1,3]、鈴木　拓児[1]
[1]千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学、[2]千葉ろうさい病院 呼吸器内科、
[3]千葉県済生会習志野病院 肺高血圧センター、[4]神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野

OR26-2　膵癌を合併した慢性血栓塞栓性肺高血圧症に術前治療介入した一例

○岩川　幹弘
東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座

OR26-3　悪性腫瘍合併 CTEPH 患者における BPA の治療効果に関する検証

○廣瀬　和俊、皆月　隼、石井　聡、齊藤　暁人、八木　宏樹、石田　純一、
波多野　将、武田　憲彦
東京大学医学部附属病院 循環器内科

OR26-4　重症 CTEPH 例で BPA 後に転移性肺腫瘍に対する切除術を施行した一例

○中嶋　千尋、福井　重文、服部　円、佐藤　司、石川　正人、村松　崇、井澤　英夫
藤田医科大学病院循環器内科

11:00〜11:40　一般演題 27　Oral Session 27

症例報告 1

座長：土肥　由裕（呉共済病院 循環器内科）
　　古賀　祐樹（久留米大学内科学講座 心臓・血管内科部門）

OR27-1　門脈肺高血圧症を伴う肝移植にマシテンタンが有用であった 1 例

○林　真理子、桃井　伸緒、青柳　良倫、川島　綾子、高野　峻也、細矢　薫子
福島県立医科大学 小児科

OR27-2 門脈体循環シャントを有する肺動脈性肺高血圧の肺移植例

○戸田　皓二郎[1]、小山　雅之[1,2]、橋本　暁佳[1,3]、中島　直美[4]、石郷　友之[5]、石井　聡[6]、
川島　光明[7]、波多野　将[6]、佐藤　雅昭[7]、古橋　眞人[1]
[1]札幌医科大学医学部 循環器・腎臓・代謝内分泌内科、[2]札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座、
[3]札幌医科大学 病院管理学、[4]札幌医科大学附属病院 看護部、[5]札幌医科大学附属病院 薬剤部、
[6]東京大学医学部附属病院 循環器内科、[7]東京大学医学部附属病院 呼吸器外科

OR27-3 静注 PGI2 投与経路に難渋した PAH の CV ポート使用長期経過

○赤尾　光優[1,2]、遠藤　寛之[1]、藤崎　真也[1]、髙野　凌[1]、西　成寛[1]、林　浩也[1]、
喜古　崇豊[1]、上田　仁[1]、辻　明宏[1]、大郷　剛[1]
[1]国立循環器病研究センター 心臓血管内科 肺循環科、[2]鹿児島大学病院 心臓血管内科

OR27-4 少量のセレキシパグ内服で肺胞出血を来した一例

○古賀　祐樹、久貝　忠大、杣山　陽一、江藤　和子、緒方　詔子、戸次　宗久、
本多　亮博、田原　宣広、福本　義弘
久留米大学内科学講座 心臓・血管内科部門

11:40〜12:20 一般演題 28　Oral Session 28

症例報告 2

座長：守尾　嘉晃（国立病院機構東京病院 呼吸器内科/呼吸器センター/肺循環喀血センター）
木下　秀之（京都大学医学部附属病院 循環器内科/京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座）

OR28-1 肺高血圧症の合併症で胸部圧迫感と嗄声・むせこみをきたした 1 例

○後藤　雅之[1]、杉浦　亮[1]、小出　昌秋[2]、曹　宇晨[2]
[1]聖隷浜松病院循環器科、[2]聖隷浜松病院心臓血管外科

OR28-2 特徴的な胸部レントゲン像を呈した特発性肺動脈拡張症の一例

○阿部　茉莉愛、小村　直弘、鈴木　徹、菅野　晃靖、川浦　範之、細田　順也、
小西　正紹、岩橋　徳明、石上　友章、日比　潔
横浜市立大学附属病院循環器内科

OR28-3 強皮症に合併した肺毛細管腫症の一剖検例

○荒野　貴大[1]、内藤　亮[1]、仲間　海人[2]、太田　昌幸[2]、平間　隆太郎[1]、杉浦　寿彦[1]、
重田　文子[1]、池田　純一郎[2]、鈴木　拓児[1]
[1]千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科、[2]千葉大学大学院医学研究院 診断病理学

OR28-4 抗ミトコンドリア M2 抗体陽性筋炎に合併した肺高血圧症の 2 例

○谷口　元城[1]、山野　貴司[1]、太田　慎吾[1]、岩田　慈[2]、北端　宏規[1]、藤井　隆夫[2]、
田中　篤[1]
[1]和歌山県立医科大学附属病院 循環器内科、[2]和歌山県立医科大学附属病院 リウマチ膠原病内科

13:30〜14:20 一般演題 29　Oral Session 29

症例報告 3

座長：齋木　宏文(岩手医科大学 小児科学講座 小児循環器分野)
石田　秀和(大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

OR29-1 血管内治療後の病理評価を行った *RNF* 213 変異を有する PPS の剖検例

○喜古　崇豊[1]、浅野　遼太郎[1,2]、石橋　知彦[2]、上田　仁[1]、辻　明宏[1]、大郷　恵子[3]、中岡　良和[2]、大郷　剛[1]

[1]国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科、[2]国立循環器病研究センター 血管生理学部、[3]国立循環器病研究センター 病理部

OR29-2 慢性肉芽種症に肺高血圧を合併した一例

○久貝　忠大、古賀　祐樹、枚山　陽一、江藤　和子、緒方　詔子、戸次　宗久、本多　亮博、田原　宣広、福本　義弘

久留米大学内科学講座 心臓・血管内科部門

OR29-3 ASD と CTEPD の併存により、POS を合併した 1 例

○福山　千仁[1]、池田　長生[1]、加藤　豪浩[1]、谷中　夏海[2]、浅見　雅子[1]、橋本　剛[1]、原　英彦[1]

[1]東邦大学医療センター大橋病院、[2]済生会横浜市東部病院

OR29-4 小児期に高度肺動脈性肺高血圧を呈した心房中隔欠損症の長期経過

○柏木　菜緒[1]、田中　里奈[1]、永松　優一[1]、古川　晋[1]、長原　慧[1]、下山　輝義[1]、櫻井　牧人[1]、山口　洋平[1]、石井　卓[1]、土井　庄三郎[2]

[1]東京科学大学病院 小児科、[2]東京保健医療大学 看護学部

OR29-5 Treat and repair 後、肺血管拡張薬を中止できた ASD に伴う PAH の一例

○倉石　敦史、佐田　良治、渡邊　紀晶、池永　寛樹、宇都宮　裕人、北川　知郎、小田　登、中野　由紀子

広島大学病院

14:20〜15:00 一般演題 30　Oral Session 30

呼吸器 3

座長：田坂　定智(弘前大学大学院医学研究科 呼吸器内科学講座)
今野　哲(北海道大学大学院医学研究院 呼吸器内科学教室)

OR30-1 慢性閉塞性肺疾患における Bendopnea の臨床的意義

○正村　寿山[1]、和田　洋典[1]、鈴木　祐介[1]、後藤　憲彦[1]、曽根原　圭[1]、立石　一成[1]、北口　良晃[1]、牛木　淳人[1]、安尾　将法[2]、花岡　正幸[1]

[1]信州大学 医学部 内科学第一教室、[2]信州大学 医学部 保健学科 生体情報検査学

OR30-2 呼吸器疾患に伴う肺高血圧症のスクリーニングに関する検討

○廣田　周子、倉石　博、牛島　祐哉、近藤　大地、小澤　亮太、山本　学、小山　茂

日本赤十字社長野赤十字病院 呼吸器内科

OR30-3 間質性肺疾患患者での右心カテーテル併用運動負荷検査の有用性

○川口　貴子[1]、瀬戸山　航史[2]、田原　正浩[1]、尾上　武志[2]、永田　泰史[2]、片岡　雅晴[2]、矢寺　和博[1]

[1]産業医科大学 医学部 呼吸器内科学、[2]産業医科大学 医学部 第2内科学

OR30-4 肺高血圧合併の有無が呼吸器疾患に対する肺移植成績に与える影響

○栢分　秀直[1]、田中　里奈[1]、坂之上　一朗[1]、住友　亮太[1]、西川　滋人[1]、豊　洋次郎[1]、
毛受　暁史[1]、馬場　志郎[2]、木下　秀之[3]、中島　大輔[1]
[1]京都大学呼吸器外科、[2]京都大学小児科、[3]京都大学循環器内科

15:00〜15:40 一般演題 31　Oral Session 31

慢性血栓塞栓性肺高血圧症 5

座長：合田　あゆみ(杏林大学医学部付属病院 循環器内科)
中村　和人(山梨大学医学部附属病院 循環器内科)

OR31-1 急性肺塞栓症後の慢性血栓塞栓性肺疾患が肺循環に及ぼす影響

○中原　美友紀、瀬戸山　航史、仲　悠太郎、尾上　武志、永田　泰史、片岡　雅晴
産業医科大学 第二内科

OR31-2 心肺運動負荷試験を用いた急性肺血栓塞栓症の慢性移行評価

○林　浩也、辻　明宏、赤尾　光優、髙野　凌、藤崎　真也、西　成寛、喜古　崇豊、
浅野　遼太郎、上田　仁、大郷　剛
国立循環器病研究センター 肺循環科

OR31-3 肺塞栓症治療専門機関における慢性血栓塞栓性肺疾患の診断

○佐藤　学、池田　長生、飯島　雷輔、原　英彦
東邦大学医療センター大橋病院

OR31-4 BPA 実施医不在での BPA の立ち上げ

○川村　碩人、中村　和人、植松　学
山梨大学医学部附属病院 循環器内科

15:40〜16:20 一般演題 32　Oral Session 32

チーム医療・医療連携 1

座長：橋本　暁佳(札幌医科大学 医療安全・病院管理学)
金森　翔平(慶應義塾大学病院 薬剤部)

OR32-1 トレプロスト吸入療法導入の教育入院プログラムへの取り組み

○川尻　夏海[1]、福岡　良磨[2]、畔蒜　歩実[1]、新井　志帆[1]、大沼　芽加[1]、松澤　英輝[1]、
岡谷　匡[3]、鎌田　あゆみ[1]、杉村　宏一郎[2]、坂尾　誠一郎[3]
[1]国際医療福祉大学成田病院 看護部、[2]国際医療福祉大学成田病院 循環器内科、
[3]国際医療福祉大学成田病院 呼吸器内科

OR32-2 他職種連携によりトレプロスト®吸入を導入できた一例

○大澤　杏花[1]、南田　晴香[1]、三崎　由稀[1]、加賀宇　芳枝[1]、向井　理恵[1]、下川原　裕人[2,3]
[1]独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 看護部、
[2]独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 循環器内科、
[3]独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 肺高血圧症センター

OR32-3 医療 DX で肺高血圧診療を変える―最適化への新たなアプローチ

○福満　雅史[1]、大郷　剛[2]、細川　和也[3]、西川　拓也[4]、朔　啓太[1]
[1]国立循環器病研究センター 循環動態制御部、[2]国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科、
[3]九州大学先端医療オープンイノベーションセンター、[4]国立循環器病研究センター 研究推進支援部

OR32-4 肺高血圧チーム医療が奏効した若年重症肺動脈性肺高血圧症の 1 例

○鈴木　徹[1]、岩橋　徳明[1]、阿部　茉莉愛[1]、菅原　拓哉[1]、小村　直弘[1]、川浦　範之[1]、
小西　正紹[1]、菅野　晃靖[2]、石上　友章[1]、日比　潔[1,2]
[1]横浜市立大学 循環器内科、[2]横浜市立大学附属市民総合医療センター 心血管センター

16:20〜16:50 一般演題 33　Oral Session 33

チーム医療・医療連携 2

座長：河野　隆志（杏林大学医学部付属病院 循環器内科）
青木　竜男（大宮あおき内科クリニック）

OR33-1 肺高血圧症診療におけるセンター化を目指しての現状と課題

○堀江　瞳[1]、今野　里美[1]、高山　萌果[2]、加嶋　美里[2]、真下　七海[2]、宮崎　彩寧[2]、
此川　衣子[2]、石橋　洋平[3,4]、高間　典明[4]
[1]群馬大学医学部附属病院 北2階外来、[2]群馬大学医学部附属病院 南4階病棟、
[3]杏林大学医学部附属病院 循環器内科、[4]群馬大学医学部附属病院 循環器内科

OR33-2 肺高血圧症における電子ネットワークを用いた医療連携の有用性

○中野　嘉久[1,2]、足立　史郎[2]、杉山　智美[3]、廣瀬　未来[3]、室原　豊明[3]
[1]名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部、[2]名古屋大学医学部附属病院 循環器内科、
[3]名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学

OR33-3 CTEPH 治療の最前線―BPA の習熟と多職種連携が生み出す QOL の向上

○小村　直弘、菅野　晃靖、鈴木　徹、阿部　茉莉愛、小野　文明、細田　順也、
小西　正紹、岩橋　徳明、石上　友章、日比　潔
横浜市立大学附属病院

16:50〜17:30 一般演題 34　Oral Session 34

呼吸器 4

座長：笠原　靖紀（東千葉メディカルセンター 呼吸器内科）
中山　和彦（神鋼記念病院 循環器内科）

OR34-1 間質性肺疾患合併肺高血圧症における肺動脈楔入圧と予後の関係

○吉川　和也、西山　理、山﨑　亮、松本　久子
近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科

OR34-2 3 群肺高血圧症での混合静脈血動脈血二酸化炭素分圧較差の検討

○佐田　良治[1]、倉石　敦史[1]、渡邊　紀晶[1]、池永　寛樹[1]、宇都宮　裕人[1]、北川　知郎[1]、
小田　登[1]、中野　由紀子[1]、堀益　靖[2]、服部　登[2]
[1]広島大学大学院医系科学研究科 循環器内科学、[2]広島大学大学院医系科学研究科 分子内科学

OR34-3 呼吸器疾患関連肺高血圧症における夜間最低 SpO_2 と予後の関連

○稲尾　崇[1]、中山　和彦[2]、髙田　陽平[1]、今尾　舞[1]、難波　晃平[1]、門田　和也[1]、
大塚　浩二郎[1]、鈴木　雄二郎[1]
[1]神鋼記念病院 呼吸器内科、[2]同 循環器内科

OR34-4 間質性肺疾患に伴う肺高血圧症における DLCO の有用性の検討

○酒寄　雅史、丹羽　崇、大利　亮太、渡邊　真之、芳賀　三四郎、藤本　一志、
大熊　堯、小倉　髙志
神奈川県立循環器呼吸器病センター

協賛企業一覧

【共催セミナー】

インスメッド合同会社
MSD 株式会社
株式会社カネカメディックス
第一三共株式会社
中外製薬株式会社
帝人ヘルスケア株式会社
日本新薬株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
ニプロ株式会社
マリンクロットファーマ株式会社
持田製薬株式会社
ヤンセンファーマ株式会社

【広告】

アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
インスメッド合同会社
ヴィアトリス製薬合同会社
クラシエ薬品株式会社
サノフィ株式会社
住友精化株式会社
武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
東レ株式会社
日本新薬株式会社
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本光電株式会社
ミナト医科学株式会社
持田製薬株式会社
ヤンセンファーマ株式会社

【展示】

コニカミノルタジャパン株式会社
日本新薬株式会社
株式会社メディカルレビュー社
ヤンセンファーマ株式会社

【Web サイトバナー広告】

アッヴィ合同会社

【寄付】

一般財団法人日本オーバスネイチ財団

（五十音順・敬称略）
2025 年 4 月 5 日時点

本学術集会を開催するにあたり、上記の皆様から、貴重なご支援を賜りました。
この場をお借りして心より御礼申し上げます。

第 10 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会
会長　田邉　信宏
千葉県済生会習志野病院　副院長/肺高血圧症センター長
千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学　特任教授

MEMO